

# 農林水産業費

事業名	次代の担い手づくり事業			
予算区分	一般会計 農林水産業費 農業費 農業振興費			
総合計画の体系	第2章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	29・31	
担当課名	農業振興課	開始年度	平成30年度	決算書 151頁 ~152頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

【事業の概要】  
 高齢化や後継者不足による生産量や産地の縮小が進展する中、スマート農業の推進、県外在住の65歳未満の移住就農者への施設整備支援、防草シート導入による法人経営の省力化支援により、新たな担い手の確保・育成と生産技術の継承に取り組む。

【成果等】  
 平成30年度は、生産部会員のハウス内に環境自動計測機器を導入する取組を支援した。また、防草シート導入による法人経営の省力化を支援した。  
 今後も、生産部会並びに法人への取組支援を継続し、後継者の育成、産地の活性化、生産拡大を図る。

成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
担い手経営体の数	経営体	283	283	283
		275	276	
		97.2%	97.5%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

平成30年度の実績

(1) スマート農業推進事業  
 事業実施主体：生産部会 対象品目：トマト  
 事業内容：環境自動計測機器の設置（5台）

(2) 新規就農者定着促進事業  
 事業実績なし

(3) 農業経営省力化普及事業  
 事業実施主体：2法人  
 事業内容：防草シートの設置（設置面積合計 2,130㎡）



【環境自動計測機器】

◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		3,900,000	1,091,000		2,809,000
主要な経費	補助金	3,900,000	1,091,000		2,809,000
財源	国庫・県支出金		103,000		
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源	3,900,000	988,000		

事業名	農水産物需要拡大事業				
予算区分	一般会計 農林水産業費 農業費 農業振興費				
総合計画の体系	第2章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	—		
担当課名	農業振興課、水産課	開始年度	平成30年度	決算書	151頁 ～152頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

【事業の概要】  
商談会出展実務の講習会等の開催並びにGAP（農業生産工程管理）等の認証取得及び商談会等への出展支援により、都市圏及び海外における農水産物の販路開拓を推進する。

【成果等】  
平成30年度は、国内商談会に参加し、国内外のバイヤー12社と商談を行った。また、「安全な農産物」を生産するための手法であるGAPの普及のための研修会を開催し、JA営農指導員の資質向上を図った。  
今後も引き続き、商談会への出展機会の提供に取り組むなど、市内農産物の国内外への販路開拓を推進する。

成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	D
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
海外輸出実績	件			
国内商談成立実績			2	2

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

平成30年度の実績

- 国内商談会への参加（沖縄大交易会）  
出展者：JA下関  
出展品目：イチゴ、トマト、アスパラガス、ネギ、はなっこりー  
商談件数：12件（海外5件、国内7件）⇒商談成立実績：0件
- GAP研修会の開催
- 「花を贈ろう・花を飾ろうキャンペーン」の実施
- 下関フグに関するアンケート調査



◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		7,000,000	1,398,485		5,601,515
主要な経費	旅費	1,693,000	195,090		1,497,910
	役務費	1,732,160	65,404		1,666,756
	委託料	2,627,840	815,400		1,812,440
財源	国庫・県支出金	3,500,000	313,447		
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源	3,500,000	1,085,038		

事業名	担い手育成支援事業（担い手確保・経営強化支援事業）				
予算区分	一般会計 農林水産業費 農業費 農業振興費				
総合計画の体系	第2章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	—		
担当課名	農業振興課	開始年度	平成30年度	決算書	151頁 ～152頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

【事業の概要】  
先進的な農業経営に意欲的な担い手に対する農業用機械・施設の導入を支援する。

【成果等】  
平成30年度は、平成29年度の国の補正事業に採択された4法人に対して、米の乾燥調製用機械やコンバインなどの農業用機械の導入に係る経費の一部を補助した。  
今後も引き続き、国、県と連携し、次世代を担う経営感覚に優れた経営体の育成を図る。



【乾燥調製用機械】

成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
担い手経営体の数	経営体	283	283	283
		275	276	
		97.2%	97.5%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

- 補助金額：30,402千円
- 助成対象者：4法人

地区名	法人数	事業内容
内日地区	2	乾燥調製用機械一式 乾燥調製用機械一式、トラクター1台、コンバイン1台
王喜地区	1	コンバイン1台、乗用管理機1台、播種機等一式2台
豊浦地区	1	コンバイン1台

◆決算情報

（単位：円）

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		39,912,000	30,402,000		9,510,000
主要な経費	補助金	39,912,000	30,402,000		9,510,000
財源	国庫・県支出金	39,912,000	30,402,000		
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源				

事業名	農業競争力強化基盤整備事業			
予算区分	一般会計 農林水産業費 農業費 農地費			
総合計画の体系	第2章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	43	
担当課名	農林整備課	開始年度	平成27年度	決算書 153頁 ~154頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

【事業の概要】  
地域農業の振興を図るため、機械導入による低コスト化や水田の汎用化等による生産性向上に向けた農業生産基盤の整備を実施する。

【成果等】  
未整備ほ場や排水不良が常態化しているほ場において、効率的で多様な農業の持続的な展開を促進するため、農用地利用計画に即し、また営農形態や地域特性に応じ、生産性向上を目指したほ場整備や農道及び用排水施設等の整備を実施している。今後も計画的に農業生産基盤整備を推進する。

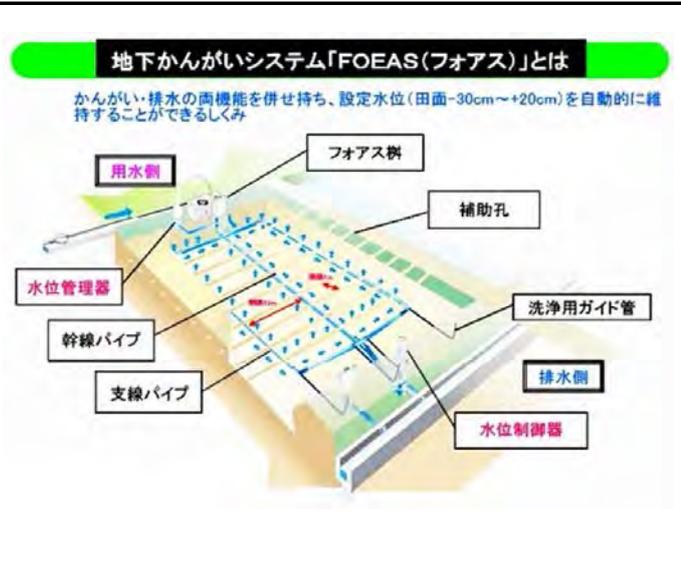


成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	拡大	評価	C
--------	------	---------	----	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆施設の概要、計画等

番号	管内	地区名	受益面積 (ha)	主要工事概要	予定工期
1	本庁	吉田(諏訪)	21	区画整理21ha 暗渠21ha 防護柵	H30~H36
2	本庁	新田	33	区画整理33ha 暗渠33ha パイプライン	H30~H36
3	本庁	内日東	92	区画整理36ha 暗渠92ha パイプライン・防護柵	H29~H33
4	本庁	王喜東	54	区画整理54ha 暗渠54ha 防護柵	H29~H33
5	菊川	七見	46	暗渠46ha パイプライン 農道舗装・防護柵	H27~H32
6	菊川	下保木	45	暗渠45ha パイプライン 防護柵	H29~H33
7	豊田	禎泉	29	暗渠29ha 農道舗装・防護柵	H28~H32
8	豊田	高熊	14	暗渠14ha 農道舗装・防護柵	H28~H31
9	豊北	後地・荒田	13	区画整理7ha 暗渠13ha 防護柵	H28~H32
10	豊北	小野朝生	47	暗渠47ha パイプライン 防護柵	H29~H33
			394		



◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	33,969,606	174,701,400	68,827,188	70,850,000	35,024,212	
主要な経費	負担金	29,357,150	174,701,400	68,827,188	70,850,000	35,024,212
	委託料	4,467,720				
	その他	144,736				
財源	国庫・県支出金	4,567,720				
	市債	12,800,000	136,200,000	33,400,000	63,200,000	
	その他特定財源		15,112,500	5,217,891	7,650,000	
	一般財源	16,601,886	23,388,900	30,209,297		

事業名	有害鳥獣捕獲業務			
予算区分	一般会計 農林水産業費 林業費 林業振興費			
総合計画の体系	第2章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	47	
担当課名	農林整備課	開始年度	平成17年度	決算書
				153頁 ～154頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

**【事業概要】**  
有害鳥獣による農林業被害の減少を図るため、侵入防止柵の設置や有害鳥獣の捕獲、モンキー犬による追い払い活動への支援等を行っている。また、有害獣を地域資源として活用するため指定管理者によりジビエセンターの運営を行っている。

**【成果等】**  
有害獣対策の結果、農林作物等への被害額は平成25年度をピークに減少傾向にある。今後も、捕獲・防護の両面からの取り組みを継続して農林業被害の減少に努める。ジビエセンターについては平成30年度は計画を上回る処理頭数となっており、今後も施設の利用促進に努め、捕獲者の負担軽減や有害獣肉の有効活用を行っていく。

成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	D
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
市内捕獲隊（実施隊）によるイノシシ・シカの捕獲実績	頭	3,000	3,000	3,000
		2,192	2,304	
		73.1%	76.8%	
市内でのシカ・イノシシによる農林作物被害額	千円	89,500	81,600	73,700
		101,907	107,856	
		87.8%	75.7%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

平成29年度から3年間の下関市鳥獣被害防止計画を策定しており、この中で被害額の目標を設定している。



みのりの丘ジビエセンターの処理実績（目標600頭/年）  
平成29年度：719頭  
平成30年度：708頭

◆決算情報

（単位：円）

年度	H29	H30				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	52,267,554	43,001,880	40,424,977		2,576,903	
主要な経費	負担金・補助金	43,350,270	32,926,000	32,071,405		854,595
	委託料（指定管理料）	5,089,720	5,783,000	5,104,300		678,700
	その他	3,827,564	4,292,880	3,249,272		1,043,608
財源	国庫・県支出金	12,565,631	337,000	287,000		
	市債	5,000,000	5,500,000	5,100,000		
	その他特定財源					
	一般財源	34,701,923	37,164,880	35,037,977		

事業名	自伐型林業研修業務				
予算区分	一般会計 農林水産業費 林業費 林業振興費				
総合計画の体系	第2章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	—		
担当課名	農林整備課	開始年度	平成30年度	決算書	153頁 ~154頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

【事業の概要】  
 中山間地域の林業の担い手確保と地域活性化を図るため、山林所有者や地域住民など関係者への周知活動や、自伐型林業に取り組む担い手の育成として、良好な森林環境を維持しながら自立・自営の林業に必要な技術研修を行っている。

【成果等】  
 自伐型林業への理解を深めるためフォーラムを開催するとともに研修会を実施したところ、延べ64名の参加があった。今後は、必要な知識・技術の基礎研修に加え、スキルアップの研修を開催し、担い手確保に努める。

成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	D
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標） (累計)

指標説明		単位	H29	H30	R1
自伐型林業の担い手確保数	指導林家	人		2	2
	研修生				1

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

平成30年度実績

- (1) 自伐型推進フォーラム開催  
【参加者27名】
- (2) チェーンソー取扱研修  
【参加者17名】
- (3) 森林づくり・作業道開設研修  
【参加者20名】



自伐型推進フォーラム



チェーンソー研修

◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		1,000,000	992,628		7,372
主要な経費	委託料	1,000,000	992,628		7,372
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源		1,000,000	992,628	

事業名	ニューフィッシャー確保育成推進事業			
予算区分	一般会計 農林水産業費 水産業費 水産業振興費			
総合計画の体系	第2章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	51	
担当課名	水産課	開始年度	平成17年度	決算書
				155頁 ～156頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

**【事業の概要】**  
後継者の確保・育成を推進するため、漁業技術等の習得や新規漁業就業者の就業直後の経営の立ち上がりを支援する。また、新規漁業就業者が経営開始時に必要な漁船・漁具等の導入に要する経費の一部や漁業会社等が新たに雇用した漁船乗組員の技術力向上を図るための実践的な研修に要する経費の一部を支援する。

**【成果等】**  
平成30年度は、各種支援の実施により新規漁業就業者2名を確保した。  
引続き、新規漁業就業者を確保するための支援を実施していく。



成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
新規漁業就業者の年間確保数 (H27年度～R元年度)	人	2	2	2
		7	2	
		350.0%	100.0%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

これまでの実績（平成31年3月末現在）

○就業実績	27人	○現在研修中	4人
下関地区	9人		
豊浦地区	8人		
豊北地区	10人		

◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	16,654,142	15,796,000	11,451,182		4,344,818	
主要な経費	補助金	16,654,142	15,788,000	11,444,500		4,343,500
	その他		8,000	6,682		1,318
財源	国庫・県支出金	6,521,856	8,744,000	2,239,625		
	市債					
	その他特定財源	437,500				
	一般財源	9,694,786	7,052,000	9,211,557		

事業名	下関漁港整備事業				
予算区分	一般会計 農林水産業費 水産業費 水産業振興費				
総合計画の体系	第2章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	53		
担当課名	水産課	開始年度	平成17年度	決算書	155頁 ~156頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

【事業の概要】  
水産都市下関の中核施設である下関漁港（山口県管理の特定第3種漁港）における、高度衛生管理型荷捌き所等の整備及び、新漁港ビル建設等に係る経費の一部を負担する。

【成果等】  
平成30年度は、一部事業で繰越が生じたが概ね計画通りに進捗しており、今後も事業実施主体である山口県と連携を密にし、事業を実施していく。



成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	------	---------	------	----	---

評価 A: 計画完了 B: 計画以上に進捗 C: 計画通りに進捗 D: 計画を下回る E: 計画を大きく下回る

◆施設の概要、計画等

平成30年度の実績

- 下関漁港（本港地区）  
南棟増築工事（建築、電気・機械設備）  
漁港道路整備、防災情報伝達施設等工事  
漁港ビル新築工事 ほか
- 下関漁港（南風泊地区）  
岸壁整備（地盤改良工、ケーソン製作工）ほか

◆決算情報

（単位：円）

年度		H29	H30			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		600,647,778	1,050,122,436	545,497,995	295,954,622	208,669,819
主要な経費	県施行負担金	594,268,850	1,050,074,436	545,497,995	295,954,622	208,621,819
財源	国庫・県支出金					
	市債	450,600,000	908,800,000	448,900,000	274,800,000	
	その他特定財源	50,932,200				
	一般財源	99,115,578	141,322,436	96,597,995	21,154,622	

事業名	下関市水産物ブランド資源増大事業			
予算区分	一般会計 農林水産業費 水産業費 水産業振興費			
総合計画の体系	第2章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	—	
担当課名	水産課	開始年度	平成30年度	決算書
				155頁 ~156頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

(事業の概要)  
「瓶詰めうに」の原料であるバフンウニの安定的な確保が可能となるよう、養殖に繋がる育成技術の開発を行うとともに、藻場の保全活動を実施し、ブランド化が可能なアカウニ等の資源増大を図る。

(成果等)  
平成30年度は、バフンウニの育成試験については、目標を上回る生残率を維持することができた。藻場の保全活動については、アラメ母藻供給など広範囲の地区で活動を行った。  
引続き、バフンウニの育成試験、藻場の保全活動を実施していく。



成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	B
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
バフンウニの養殖生残率	%		60	60
			80	
			133.3%	
藻場の保全活動の実施	地区		12	12
			22	
			183.3%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

平成30年度の主な実績  
○加工原材料確保促進  
育成試験の実施 バフンウニ生残率80%（1,074個から864個生残）  
○藻場の保全等の取組  
15地区でアラメ母藻の供給、7地区で海藻の食害生物の除去を実施

◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		2,700,000	2,073,697		626,303
主要な経費	飼料費	820,000	612,576		207,424
	委託料	1,294,000	1,293,840		160
	その他	586,000	167,281		418,719
財源	国庫・県支出金		342,273		
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源	2,700,000	1,731,424		

事業名	下関漁港南風泊地区高度衛生管理整備事業			
予算区分	一般会計 農林水産業費 水産業費 漁港建設費			
総合計画の体系	第2章 第1節 農林水産業の振興	実施計画番号	59	
担当課名	市場流通課	開始年度	平成27年度	決算書 155頁 ~156頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

【事業の概要】  
南風泊市場（昭和49年開設）は老朽化が著しく、耐震化が未整備であり、最新の衛生管理に課題がある。このため、安全で安心な水産物を供給し、付加価値の向上、魚価の安定を図ることを目的として、山口県が行う陸揚げ岸壁の耐震化工事にあわせ、荷さばき所内に設置した活魚水槽から運搬した「ふく」の選別・陳列・セリを行うエリアを高度衛生管理エリアとして設定した「高度衛生管理整備事業」を国の特定漁港漁場整備事業の補助を活用し実施する。

【成果等】  
仮設荷さばき所を整備し、平成30年11月より供用開始している。令和元年度は既存市場の解体撤去工事を行う。

成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	拡大	評価	C
--------	------	---------	----	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆施設の概要、計画等

(概要) 敷地面積11,837㎡、建物面積6,548㎡、竣工予定R4年度、主体構造PCaPC  
(事業スケジュール)

施設名	期間	種別	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
衛生管理型荷さばき所(市)	H27 ~ R4	仮設	基本構想	設計 地質調査	工事	供用開始	仮設利用期間			
		本設	基本構想	地質調査	設計	既存解体撤去	許認可手続き	工事	供用開始	解体撤去

(施工場所)



◆決算情報

(単位：円)

年度		H29	H30			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		143,943,450	560,076,550	453,842,850		106,233,700
主要な経費	基本・実施設計業務	51,980,000				
	工事監理業務	1,108,080	9,300,000	2,563,920		6,736,080
	仮設荷さばき所建設工事	83,485,760	533,716,120	435,698,320		98,017,800
財源	国庫・県支出金	116,835,532	452,438,434	365,533,534		
	市債	23,900,000	96,700,000	79,400,000		
	その他特定財源					
	一般財源	3,207,918	10,938,116	8,909,316		



# 商 工 費

事業名	創業支援型地域活性化事業			
予算区分	一般会計 商工費 商工費 商工業振興費			
総合計画の体系	第2章 第2節 商工業の振興	実施計画番号	63	
担当課名	産業振興課	開始年度	平成27年度	決算書
				157頁 ~158頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

【事業の概要】  
創業支援拠点施設において、創業希望者の発掘及び育成を段階的に支援し、本市産業の活性化と新たな雇用創出の促進を図るとともに、市民交流の拠点化、唐戸地区の賑わい創出を図る。

【成果等】  
創業支援施設KARASTAにて、数多くのセミナー・イベントを実施したことで、来場者数、創業相談件数ともに増加した。また、新たに産官学金連携によるKARASTA協議会を開催することで、ビジネスマッチングの機会創出を図った。  
今後も、遊休不動産マッチング拠点施設GRESTAとの情報交換の場を設けるなど、創業から開店までの一貫した支援を引続き行っていく。



成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	B
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
創業相談件数	件	50	200(5)	300(5)
※ H30年度以降、目標指標カッコ内は、創業件数		311	357(11)	
		622.0%	178.5%(220%)	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

●利用状況	●セミナー等開催状況						
<table border="1"> <tr> <th>来場者</th> <th>創業相談</th> <th>創業件数</th> </tr> <tr> <td>5,808</td> <td>357</td> <td>11</td> </tr> </table>	来場者	創業相談	創業件数	5,808	357	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KARASTA スタートアップ実践塾 20回実施 参加者総数 170人</li> <li>・「産官学金連携」による「KARASTA 協議会」 4回実施</li> </ul>
来場者	創業相談	創業件数					
5,808	357	11					

◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費	10,841,189	12,000,000	11,999,999		1
主要な経費	委託料	10,841,189	11,999,999		1
財源	国庫・県支出金	5,420,594	6,000,000	5,999,999	
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源	5,420,595	6,000,000	6,000,000	

事業名	遊休不動産マッチング支援型地域活性化事業				
予算区分	一般会計 商工費 商工費 商工業振興費				
総合計画の体系	第2章 第2節 商工業の振興	実施計画番号	—		
担当課名	産業振興課	開始年度	平成30年度	決算書	157頁 ~158頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

【事業の概要】

商店街における空き店舗等のデータベースを構築し、当該不動産オーナーと起業家等とのマッチングを行うための拠点を開設するとともに、市民交流の拠点化、施設周辺地区の賑わい創出を図る。

【成果等】

遊休不動産マッチング拠点施設GRESTAにて、空き店舗調査の他、市内不動産事業者や個人物件所有者等からの情報提供協力により情報収集を行い、商店街を中心に本市全域における空き店舗のデータベースを作成した。また、空き店舗の活用に関するセミナー等を開催することで、空き店舗のマッチングの機会創出を図った。

今後も、創業支援施設KARASTAとの情報交換の場を設けるなど、創業から開店までの一貫した支援を引き続き行っていく。



成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	D
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
創業者等と遊休不動産とのマッチング件数	件		2	5
			0	
			0%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

●利用状況

来場者	相談件数	物件相談
1,706	122	63

●セミナー開催状況（対象者）

- ・12/16 空き店舗Walker（出店希望者等）
- ・1/20 空き店舗バスツアー（出店希望者等）
- ・2/22 空き店舗&リノベ実践塾（物件所有者、商店街関係者等）

◆決算情報

（単位：円）

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		7,400,000	7,398,000		2,000
主要な経費	委託料	7,400,000	7,398,000		2,000
財源	国庫・県支出金	3,700,000	3,699,000		
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源	3,700,000	3,699,000		

事業名	市民参加型商店街にぎわい創出事業				
予算区分	一般会計 商工費 商工費 商工業振興費				
総合計画の体系	第2章 第2節 商工業の振興	実施計画番号	—		
担当課名	産業振興課	開始年度	平成30年度	決算書	157頁 ~158頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

**【事業の概要】**  
商店街への来訪目的及び滞留時間の増加を図るため、市民プレーヤーと協働して、商店街組織が実施するイベントの企画立案から開催、及び商店街情報の発信のための市民参加型プロモーションを実施する。

**【成果等】**  
小月地区にて、市民参加型にぎわい創出イベントの実施により、商店街への来訪機会の創出や滞留時間の増加が図れた。また、SNSを活用した市民参加型のプロモーション活動の実施により、協働商店街や商店街区域に存する個店の魅力などが、広く情報発信された。



成果の方向性	休廃止	事業費の方向性	皆減	評価	B
--------	-----	---------	----	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
SNSフォロワー数	人		100	
			151	
			151.0%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

●実施状況

- (1) 市民参加型にぎわい創出イベント支援業務  
 カップラーメン100人チャレンジ@小月（12/1） 約200人超  
 地撮り小月下関（3/21） 27人  
 実施イベントの意見交換会（①3/8 31人、②3/17 15人）
- (2) 市民参加型プロモーション活動促進業務  
 SNS（インスタグラム）講習会 15人  
 SNS（ツイッター）講習会 19人

◆決算情報

（単位：円）

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		1,000,000	999,000		1,000
主要な経費	委託料	1,000,000	999,000		1,000
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源		1,000,000	999,000	

事業名	あきんど活性化支援事業費補助金				
予算区分	一般会計 商工費 商工費 商工業振興費				
総合計画の体系	第2章 第2節 商工業の振興			実施計画番号	—
担当課名	産業振興課	開始年度	平成17年度	決算書	157頁 ~158頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

**【事業の概要】**  
市内空き店舗等において、小売業、飲食業又はサービス業を始めようとする者に対し、店舗賃料や店舗改装費用などの開業に要した経費の一部を補助し、出店の促進と円滑な事業展開を支援することで、本市の商業の振興を図る。

**【成果等】**  
①商業者の担い手不足、②小売形態の多様化への対応の遅れ、③中心市街地の活力低下、④商圈人口の減少などの本市商業を取り巻く課題に対応するため、支援内容の拡充を図った。  
今後も事業を継続して実施する。



成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
支援件数	件	12	15	15
		14	17	
		116.7%	113.3%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

●拡充した支援内容

- ①大店立地法特例区域への出店支援（駅前周辺施設の活性化）
- ②若者創業者の補助上限額引上げ（若者創業支援）
- ③補助対象者の拡大（事業拡大支援）
- ④UJIターンの住所要件緩和（定住促進支援）
- ⑤新規創業要件の撤廃（事業拡大支援）
- ⑥事業実施物件の拡大（事業形態多様化への対応）

◆決算情報

（単位：円）

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費	4,066,603	8,121,918	8,121,918		
主要な経費	補助金	4,066,603	8,121,918	8,121,918	
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源	4,066,603	8,121,918	8,121,918	

事業名	ふるさと起業家支援補助金				
予算区分	一般会計 商工費 商工費 商工業振興費				
総合計画の体系	第2章 第2節 商工業の振興	実施計画番号	—		
担当課名	産業振興課	開始年度	平成30年度	決算書	157頁 ~158頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

**【事業概要】**  
 地域資源を活用して地域課題の解決に資する事業を下関市で立ち上げる起業家に対し、クラウドファンディング型ふるさと納税を財源とした補助制度を創設して、本市での起業支援を行うことにより、本市の活力の創出、経済の活性化を図る。

**【成果等】**  
 市が認定した2つの事業に対し、クラウドファンディングを活用して募った寄附金を財源として補助を行った。起業支援を行うことで地域の活性化を図るため、今後も継続して実施する。

成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	D
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
創業件数	件		4	4
			2	
			50.0%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

認定事業	
①豊北町空き家対策にぎわい創出事業	②豊浦町有機の里づくり
寄附金額 10,306,000円	寄附金額 3,125,000円
補助金額 8,404,000円	補助金額 2,545,000円
事業内容 島戸地区の空き家をゲストハウスにリフォーム、及びジビエを活用した新メニューの開発等	事業内容 有機野菜を販売する直売所の開設、及び地域の食材を使ったオーガニック食品の販売等

◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		22,000,000	13,430,275		8,569,725
主要な経費	委託料	4,038,487	2,465,931		1,572,556
	補助金	17,946,169	10,949,000		6,997,169
	役務費	15,344	15,344		
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源	22,000,000	13,430,275		
	一般財源				

事業名	地域資源活用促進事業			
予算区分	一般会計 商工費 商工費 商工業振興費			
総合計画の体系	第2章 第2節 商工業の振興	実施計画番号	64	
担当課名	産業振興課	開始年度	平成26年度	決算書
				157頁 ～158頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

【事業の概要】

地域資源活用促進法に基づき山口県の指定を受けた地域資源を活用して新商品を開発する中小企業者の取り組みに対し、商品開発、販路開拓等、入口から出口までの一貫した支援を行い、経営革新と基盤強化に資するとともに、地場産業の活性化を図る。

【成果等】

地域資源活用促進事業費補助金による新商品開発支援や、地域資源のプロモーション、事業者の販路開拓支援事業を行った。

補助金については目標どおり10件の事業を採択した。その他、本市の地域資源の付加価値向上のため、「下関三海の極味」（しものせきみつみのぎわみ）のエリアブランドネーミングのもと首都圏を中心としたプロモーション事業を行いPRを進めた。

今後は補助事業を継続しつつ、計画的にプロモーションの実施及び製品の開発に向けた支援を行うなど、Only One育成に向けた諸事業を実施する。



補助金認定式



下関三海の極味お披露目会

成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
新商品開発件数	件	10	10	10
		10	10	
		100.0%	100.0%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

地域産業資源

県全域	農林水産物	15	サザエ、はなっこりー、晴るる、やまぐち和牛 等
	鉱工業品	6	水産ねり製品、デニム製品、やまぐちの酒、味噌、醤油等
下関市	農林水産物	27	ふく、クジラ、ジビエ(イノシシ肉、シカ肉) 等
	鉱工業品	10	赤間硯、瓦そば、そうめん、辛子明太子、ウニ加工品 等
	観光資源	15	関門海峡、川棚温泉、城下町長府、海響館 等

◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費	29,442,570	30,000,000	29,225,971		774,029
主要な経費	委託料	23,978,000	24,000,000	24,000,000	
	補助金	5,000,000	5,000,000	5,000,000	
	旅費	464,570	1,000,000	225,971	774,029
財源	国庫・県支出金	14,615,310	15,000,000	14,598,345	
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源	14,827,260	15,000,000	14,627,626	

事業名	都市間連携地域産業活性化事業			
予算区分	一般会計 商工費 商工費 商工業振興費			
総合計画の体系	第2章 第2節 商工業の振興	実施計画番号	65	
担当課名	産業振興課	開始年度	平成27年度	決算書
				157頁 ~158頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

【事業の概要】

維新150周年の好機を活かし観光・物産を主とした地域産業の拡大に繋げるため、「維新」や「都市間連携」をテーマとした物産展・交流イベント等地域振興事業を実施し、本市ブランドや物産の高付加価値化、物産の販路拡大による地域産業の活力強化を図る。

【成果等】

明治維新150周年を迎え、「明治維新」をテーマとした都市間連携による物産展・交流イベント等地域振興事業を実施した他、連携都市で開催された展示商談会へ参加した。一連のプロモーション活動を通じて、連携都市や大都市圏で多くの方に本市の物産の価値を訴えかけることが出来た。

明治維新150周年記念事業が一段落ついたため、平成30年度をもって本事業を終了。



物産展参加状況



商談交流会参加状況

成果の方向性	休廃止	事業費の方向性	皆減	評価	D
--------	-----	---------	----	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
事業のメディア掲載件数	件	30	30	
		27	17	
		90.0%	56.7%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

○実施事業

- ・ 連携都市と共同で行った情報発信等  
維新150年薩長商談交流会inかごしま  
長府企業フェスタ、しものせき維新まつり
- ・ その他、観光物産展・展示商談会出展

◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	6,981,809	10,000,000	3,044,995		6,955,005	
主要な経費	委託料	6,981,809	10,000,000	3,044,995		6,955,005
財源	国庫・県支出金	3,490,904	5,000,000	1,522,497		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	3,490,905	5,000,000	1,522,498		

事業名	下関ブランド発信事業				
予算区分	一般会計 商工費 商工費 商工業振興費				
総合計画の体系	第2章 第2節 商工業の振興	実施計画番号	—		
担当課名	産業振興課	開始年度	平成18年度	決算書	157頁 ~158頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

**【事業の概要】**  
本市の風土や地域資源、市内企業の高い加工技術により創り出された地域産品を、地域や国内外の大消費地での需要喚起や認知度を高めるとともに、異業種・同業種の連携促進を通じた付加価値の向上により、地場産業の活性化を図る。

**【成果等】**  
下関ブランド明治維新150年記念認定事業として、58事業者の133品目を下関ブランドとして認定した。  
また、マツダZoomZoomスタジアム「下関市デー」やスーパーマーケットトレードショー2019等、9会場での物産展・展示商談会に参加したほか、商品カタログやポスター等のPR商材を作成しバイヤー訪問を行うなど、下関産品の認知度向上に努めた。  
今後は、物産展やバイヤー訪問を通じ、下関産品の一層の認知度向上を図る。



認定式の様子



物産展参加状況

成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
バイヤー訪問件数	件		10	10
			12	
			120.0%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

○下関ブランド明治維新150年記念認定品の内訳  
 ぶく 28、うに 15、くじら 12、あんこう 3、明太子 4、練り製品 8、  
 その他水産加工品 15、菓子類 12、酒類 6、調味料 20、その他 10（計133）

◆決算情報

（単位：円）

年度	H29	H30				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	3,738,189	7,428,100	7,156,509		271,591	
主要な経費	委託料	3,738,189	6,270,000	6,048,409		221,591
	旅費		928,100	928,100		
	負担金		180,000	180,000		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	3,738,189	7,428,100	7,156,509		

事業名	金融対策業務			
予算区分	一般会計 商工費 商工費 商工業振興費			
総合計画の体系	第2章 第2節 商工業の振興	実施計画番号	61	
担当課名	産業振興課	開始年度	平成17年度	決算書 157頁 ~158頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

【事業概要】  
 中小企業者の円滑な資金調達および経営の安定や新規事業展開を支援するため、金融機関と協調して低利の融資を実施するほか、融資に伴う保証料の補給等を行う。

【成果等】  
 利率の引き下げや融資期間の延長、限度額の引き上げなど、融資条件を大幅に見直し、また、保証料補助率の引き上げを行ったことにより、新規融資件数が増加した。  
 今後も、景況等を注視し中小企業にとって利用しやすい制度となるよう努める。

成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
新規融資件数（年間）	件	211	322	322
		191	275	
		90.5%	85.4%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

新規融資実績		
制度名	融資件数（件）	融資金額（千円）
中小企業事業資金融資	69	363,905
中小企業体質強化特別融資	42	588,500
起業資金融資	12	42,200
中心市街地活性化チャレンジ資金融資	3	50,000
中小企業等経営安定化短期資金融資	149	649,500

◆決算情報

（単位：円）

年度	H29	H30				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	964,533,593	1,461,791,000	983,001,208		478,789,792	
主要な経費	補助金	1,133,321	13,599,000	12,575,096		1,023,904
	貸付金	963,282,000	1,447,894,000	970,322,000		477,572,000
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源	963,282,000	1,447,894,000	971,718,082		
	一般財源	1,251,593	13,897,000	11,283,126		

事業名	まちづくり人材育成型地域活性化事業			
予算区分	一般会計 商工費 商工費 商工業振興費			
総合計画の体系	第2章 第2節 商工業の振興	実施計画番号	66	
担当課名	産業振興課	開始年度	平成27年度	決算書
				157頁 ~158頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

【事業の概要】  
下関駅前地区のにぎわいの創出、まちづくり人材の育成及び自立的かつ持続的なまちづくり活動の定着を図る。

【成果等】  
下関駅前のにぎわい創出促進のため、まちづくり活性化事業への参画や専門家の招へい等によりまちづくりのリーダーの育成を図った。  
また、エキマチ下関推進協議会など下関駅周辺のまちづくりに関わる団体との協力・連携を図り、今後のまちづくり活動への参画が期待できる人材の発掘及び育成を行った。  
次年度は、まちづくり活動を自立的・持続的なものとするべく、構築された事業化プランの具現化など、新たな事業展開を図るため、本事業を終了。



成果の方向性	休廃止	事業費の方向性	皆減	評価	C
--------	-----	---------	----	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
下関駅前にぎわい創出イベント及び人材育成セミナーの開催回数 (H30以降)事業化プラン構築件数	回	14	3	
		14	4	
		100.0%	133.3%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

●実施状況

- (1) にぎわい創出のためのイベント開催  
エキマチ下関2018オータムフェス(11/23)  
エキマチマルシェ&ランチタイムコンサート(3/23)
- (2) まちづくり活動支援のためのプラットフォーム構築に向けた調査・分析
- (3) まちづくり人材育成のための実践的な研修プログラムの実施  
第13回(10/25)吉川美貴「町おこしの極意～企画の磨き方と壁の突破術～」  
第14回(11/10)吉村邦彦「駅前のポテンシャルは無限大！」  
第15回(12/1・2)エキマチ下関まちづくり研修会…事業化プランを4件構築

◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費	5,994,000	6,800,000	6,800,000		
主要な経費	委託料	5,994,000	6,800,000	6,800,000	
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源	5,994,000	6,800,000	6,800,000	

事業名	オフィスビル建設促進事業			
予算区分	一般会計 商工費 商工費 商工業振興費			
総合計画の体系	第2章 第2節 商工業の振興	実施計画番号	62	
担当課名	産業立地・就業支援課	開始年度	平成30年度	決算書
				157頁 ～158頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

**【事業の概要】**  
今後誘致が見込める都市型サービス産業のニーズに合ったオフィスの建設を推進するため、費用の一部を補助し、企業立地に伴う雇用の創出を図る。

**【成果等】**  
平成30年度にオフィスの建設費用の一部を補助するオフィスビル建設促進補助金を創設し、建設事業者を公募した結果、参加を表明した事業者はあったものの、やむなく辞退となり選定までは至らなかったため、再度建設事業者の公募を行う。



成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	D
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
オフィスビル建設件数	件			/

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

<制度概要>

**【対象事業者】**  
オフィスビルの建設事業主体

**【補助率】**  
建設事業費の20%相当額  
(上限：3億円)  
(単年度限度：1億円)

**【対象要件】**

- 新築であること
- 所在地が中心市街地内であること
- 延べ床面積が3,000㎡以上であること
- オフィスに供する床面積は2,100㎡以上とし、うち、9/10以上を賃貸借とすること
- OAフロア仕様であること

◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		600,000	381,304		218,696
主要な経費	旅費	240,000	208,504		31,496
	委託料	360,000	172,800		187,200
財源	国庫・県支出金				/
	市債				/
	その他特定財源				/
	一般財源		600,000	381,304	

事業名	下関地域商社／海外販路開拓支援事業			
予算区分	一般会計 商工費 商工費 貿易振興費			
総合計画の体系	第5章 第6節 港湾の振興	実施計画番号	156	
担当課名	産業振興課	開始年度	平成27年度	決算書
				157頁 ～158頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

【事業の概要】  
 海外事業展開を志向する市内中小企業に対し、擬似的な貿易商社「下関地域商社」を構成する市と連携した「産・官・学・金」の各主体がノウハウを持ち寄り、情報収集から貿易実施に至るまでの支援を行う。

【成果等】  
 地域商社の機能強化として、新たに損害保険会社が参画団体として加入したほか、貿易実務と知的財産の専門家を招聘しサマーミーティングを行った。また、市内企業の販路拡大のため、国内外3箇所で食品関連の展示会における下関市ブースの設置等を行い、12件の成約となった。

今後は、企業訪問等を通じて出展企業の掘り起こしを進め出展企業数を確保するほか、出展事業者へのサポートを強化し商談成約の可能性を高めて海外販路開拓を進める。



下関ブースの様子



サマーミーティングの様子

成果の方向性	拡充	事業費の方向性	現状維持	評価	B
--------	----	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
成約件数/展示会参加企業数 (成約件数の達成率を記入、H29は成約件数の計画値なし)	件/社	-/8	5/8	5/8
		4/10	12/10	
			240.0%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

○実施事業

- ・展示商談会参加  
 FOOD JAPAN 2018 (シンガポール 10月)  
 沖縄大交易会2018 (宜野湾市 11月)  
 FOOD EX JAPAN 2019 (千葉市 3月)
- ・サマーミーティング開催 (8月22日開催 参加者64人)  
 講師：秋葉 良和氏 (貿易実務)、田中 雅敏氏 (知的財産)
- ・下関地域商社ウェブサイト運営 (<http://shimonoseki.shop/>)

◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費	11,333,170	20,000,000	14,356,535		5,643,465
主要な経費	委託料	9,391,000	16,000,000	11,966,386	4,033,614
	旅費	1,942,170	3,000,000	1,990,149	1,009,851
	報償費		1,000,000	400,000	600,000
財源	国庫・県支出金	5,437,825	10,000,000	6,742,751	
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源	5,895,345	10,000,000	7,613,784	

事業名	観光宣伝業務			
予算区分	一般会計 商工費 観光費 観光振興費			
総合計画の体系	第1章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	12	
担当課名	観光政策課	開始年度	平成17年度	決算書
				157頁 ~160頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

「観光客数1,000万人、宿泊客数100万人」の数値目標を掲げた「下関市観光交流ビジョン2022」の中間検証を実施し、ビジョンを補完する「附則」の策定を行った。  
平成30年度は「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」及び新観光列車「〇〇のはなし」の運行開始1周年記念や国内外セールスについて重点的に取り組み、観光客の受入体制整備や情報発信を行った。  
今後も、ビジョンを基本とし、多種多彩な観光イベントの企画・運営に官民一体となって取り組み、交流人口の拡大を図る。



成果の方向性	拡充	事業費の方向性	現状維持	評価	D
--------	----	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
通年型観光客数 (暦年・実人数)	千人	5,000	5,500	5,600
		4,832	4,760	
		96.6%	86.5%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

下関市の観光客数・宿泊客数（平成30年）

観光客数：実人数 約700万人（対前年比99.3%）

宿泊客数：約81.3万人（対前年比100.5%）

◆決算情報

（単位：円）

年度	H29	H30				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	97,070,727	89,906,964	89,885,364		21,600	
主要な経費	委託料	19,727,388	18,246,168	18,224,568		21,600
	負担金及び補助金	74,580,000	68,820,000	68,820,000		
	その他	2,763,339	2,840,796	2,840,796		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源	64,226,117	50,184,000	52,126,994		
	一般財源	32,844,610	39,722,964	37,758,370		

事業名	明治維新150年記念事業費補助金			
予算区分	一般会計 商工費 観光費 観光振興費			
総合計画の体系	第1章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	12	
担当課名	観光政策課	開始年度	平成30年度	決算書
				157頁 ~160頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

観光客誘致を目的とした、観光客誘致宣伝活動等のうち、明治維新150年記念事業に対して、補助金を交付するもの。

(事業内容)

- ①「歴史のまち下関観光ガイドキャンペーン」事業
- ②維新まつり開催費助成
- ③維新150年観光フォーラム開催費助成

成果の方向性	休廃止	事業費の方向性	皆減	評価	A
--------	-----	---------	----	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標(活動指標)

指標説明	単位	H29	H30	R1
通年型観光客数 (暦年・実人数)	千人		5,500	
			4,760	
			86.5%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

「歴史のまち下関観光ガイドキャンペーン」  
 期間：平成30年1月～12月  
 料金：通常2時間3,000円を無料 但し、1時間経過ごとに1,000円  
 案内エリア：城下町長府、唐戸、巖流島など  
 【実績】利用者延べ人数：2,806人 ガイド対応数：125人



◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		1,710,000	1,408,780		301,220
主要な経費	補助金	1,710,000	1,408,780		301,220
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源		1,710,000	1,408,780	

事業名	下関・長門観光誘客連携事業			
予算区分	一般会計 商工費 観光費 観光振興費			
総合計画の体系	第1章 第3節 連携・交流の推進	実施計画番号	20	
担当課名	観光政策課	開始年度	平成30年度	決算書
				157頁 ~160頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

長門市との共同観光の取り組みについて、集客効果に向けた更なる連携事業を展開し、両市の観光資源を活かした魅力向上を図るもの。

(事業内容)

①誘客促進事業

- ・「見どころギュッと満喫バス」の企画、運行  
※ 往復に観光列車「〇〇のはなし」利用

②観光宣伝事業

- ・ポスター、リーフレット制作
- ・旅行エージェンセールスの実施



成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	D
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
通年型観光客数 (暦年・実人数)	千人	5,000	5,500	5,600
		4,832	4,760	
		96.6%	86.5%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

「絶景をハシゴする」

内容：角島大橋（下関市）・元乃隅神社（長門市）にスポットをあてたポスター。

実績：第67回日本観光ポスターコンクール  
オンライン投票部門1位。



◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		1,500,000	1,500,000		
主要な経費	負担金	1,500,000	1,500,000		
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源	1,000,000	1,000,000		
	一般財源	500,000	500,000		

事業名	コンベンション誘致促進業務			
予算区分	一般会計 商工費 観光費 観光振興費			
総合計画の体系	第1章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	13	
担当課名	観光政策課	開始年度	平成17年度	決算書
				157頁 ~160頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

観光・宿泊・飲食など経済波及効果が期待できる国内外のコンベンション誘致促進のため、下関観光コンベンション協会の活動をより一層支援し、官民で「コンベンションシティ」の創造を目指すもの。  
平成30年度は、首都圏の各種団体へ誘致活動を実施するとともに山口県内の団体等を中心に誘致活動を実施した。その結果、MICEの誘致・支援実績としては、昨年より増加となった。今後も、過去1万人規模の大会を成功させた実績を踏まえ、官民一体となってコンベンション誘致の促進並びに質の高い受入体制づくりに積極的に取り組む。



成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	D
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
コンベンション開催件数	件	50	50	50
		39	43	
		78.0%	86.0%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

平成30年度主な実績

- 第34回日本診療放射線技師学術大会・第6回アジア放射線治療シンポジウム（9/21~23） 2,000人
- 日本糖尿病学会中四国地方大会第56回総会（10/26・27） 1,000人

令和元年度  
下関市にて開催決定

- 日本医学検査学会（5/18・19） 規模：3,500人
- 日本薬剤師会学術大会（10/13・14） 規模：1万人
- 日本肝臓学会（12/12・13） 規模：1,200人

◆決算情報

（単位：円）

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費	27,500,000	26,600,000	26,600,000		
主要な経費	補助金	27,500,000	26,600,000	26,600,000	
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源	4,000,000	4,500,000	4,500,000	
	一般財源	23,500,000	22,100,000	22,100,000	

事業名	広域観光振興業務			
予算区分	一般会計 商工費 観光費 観光振興費			
総合計画の体系	第1章 第3節 連携・交流の推進	実施計画番号	20	
担当課名	観光政策課	開始年度	平成17年度	決算書 157頁 ~160頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

北九州市、山口県と組織した関門海峡観光推進協議会並びに長門市、美祢市及び各観光協会と組織した長州路観光連絡会を通じて、相互の観光資源を活用した、より効果的な広域観光情報を発信し、観光客誘致及びエリア内の周遊促進を行った。



成果の方向性	拡充	事業費の方向性	現状維持	評価	B
--------	----	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
関門連絡船利用者数（暦年）	人	472,000	500,000	572,000
		499,470	568,180	
		105.8%	113.6%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

【主な施策（平成30年度）】

関門海峡観光推進協議会：関門国道トンネル人道地下エレベーターホール展示パネルの刷新及び国内外セールス等

地方創生推進交付金事業：関門連携による国内外映画・テレビドラマ誘致・支援事業  
多言語対応アプリケーション制作などによる観光情報発信事業  
関門地域夜間景観周遊バス運行等事業  
ビックデータ等を活用した戦略的観光振興事業

長州路観光連絡会：山口県西部ドライブスタンプラリー開催  
山陰線観光列車「〇〇のはなし」を活用した観光PR

◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	24,543,600	20,329,204	19,209,766		1,119,438	
主要な経費	旅費及び手数料	992,279	1,602,204	734,932		867,272
	委託料	9,241,911	6,800,000	6,782,477		17,523
	負担金及び補助金	14,309,410	11,927,000	11,692,357		234,643
財源	国庫・県支出金	9,461,336	6,550,000	6,427,120		122,880
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	15,082,264	13,779,204	12,782,646		

事業名	国際観光対策業務			
予算区分	一般会計 商工費 観光費 観光振興費			
総合計画の体系	第1章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	19	
担当課名	観光政策課	開始年度	平成17年度	決算書
				157頁 ~160頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

外国人観光客の誘致

- ・国内外での観光展や商談会等に参加して観光PRを実施。
- ・外国語版パンフレットの充実、国際ターミナルの観光案内所の運営。
- ・本市へのツアー造成のため、インターネットを活用して海外旅行会社へ情報発信を行う。
- ・国・県等と協力して海外旅行企画担当者を招聘し、観光ルートの視察・体験を通じて、観光客誘致拡大を図る。
- ・海外旅行会社に対して、外国人観光客滞在促進のための助成を行い、交流人口拡大を図る。



成果の方向性	拡充	事業費の方向性	現状維持	評価	B
--------	----	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
外国人宿泊客数（延人数）	人	20,000	21,000	37,000
		19,301	36,086	
		96.5%	171.8%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

下関港外国人正規入国者数

	平成29年	平成30年
下関港入国者数	94,406人	78,791人

※法務省 出入国管理統計統計表より抜粋

◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	9,266,584	10,507,832	9,425,884		1,081,948	
主要な経費	旅費	1,860,732	2,148,000	1,810,728		337,272
	委託料	5,126,016	5,409,192	4,856,782		552,410
	負担金及び補助金	2,122,450	2,503,640	2,502,960		680
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	9,266,584	10,507,832	9,425,884		

事業名	上臈衣装製作業務				
予算区分	一般会計 商工費 観光費 観光振興費				
総合計画の体系	第1章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	—		
担当課名	観光政策課	開始年度	平成30年度	決算書	157頁 ~160頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

上臈衣装は、「しものせき海峡まつり」や「源平Night in 赤間神宮」などの観光宣伝や観光PR、観光キャンペーンで使用している。古いものは平成元年度に製作しているため、経年劣化により状態が悪いものも見受けられることから、寄附金を活用して新規に製作するもの。  
令和元年度に繰越したが、しものせき海峡まつりにおいて製作した上臈衣装を披露した。



成果の方向性	休廃止	事業費の方向性	皆減	評価	A
--------	-----	---------	----	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
通年型観光客数 (暦年・実人数)	千人	5,000	5,500	5,600
		4,832	4,760	
		96.6%	86.5%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

下関市の観光客数・宿泊客数（平成30年）

観光客数：実人数 約700万人（対前年比99.3%）

宿泊客数：約81.3万人（対前年比100.5%）

※しものせき海峡まつり 観光客数40.4万人（令和元年45.8万人）

◆決算情報

（単位：円）

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		10,000,000		10,000,000	
主要な経費	委託料	10,000,000		10,000,000	
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源	10,000,000		10,000,000	
	一般財源				

事業名	観光スポットフリーWi-Fi環境整備事業				
予算区分	一般会計 商工費 観光費 観光施設費				
総合計画の体系	第1章 第2節 観光・レクリエーションの振興	実施計画番号	—		
担当課名	観光施設課	開始年度	平成30年度	決算書	159頁 ~160頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

訪日外国人を含む観光客が無料で利用できるWi-Fi環境（無料公衆無線LAN）を整備し、情報収集や情報発信のための環境を整えることにより、利便性と満足度の向上、さらには観光産業の活性化やにぎわいの創出を図るもの。  
市内主要観光スポット計5箇所に屋外フリーWi-Fiスポットを整備した。  
さらに民間事業者が導入に協力され、関門海峡沿いの観光スポットが「しものせきフリーWi-Fi」でつながることとなった。  
今後も引き続き、しものせきフリーWi-Fiの利用促進に取り組む。



成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	縮小	評価	C
--------	------	---------	----	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆施設の概要、計画等

- 「しものせきフリーWi-Fi」概要
  - ・メールアドレスまたはSNSアカウントの入力及び利用規約に同意することで利用可能。
  - ・利用者1回あたりのログイン時間は30分、何度でもログイン可能。
  - ・日本語、英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語、タイ語に対応。
- 平成30年度 Wi-Fiスポット整備箇所（平成30年11月より運用開始）
  - ①下関駅前人工地盤（日本セシモニーウォーク） ②はい！からっと横丁海側
  - ③海響館出口 ④唐戸市場場外 ⑤みもすそ川公園
- その他の「しものせきフリーWi-Fi」設置箇所
  - ・しおかぜの里角島
  - ・カモンワーフ海側（民間事業者による設置）

◆決算情報

（単位：円）

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		6,000,000	4,333,814		1,666,186
主要な経費	Wi-Fi環境整備 (運営保守管理・通信費等含む)	6,000,000	4,333,814		1,666,186
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源	6,000,000	4,000,000		
	一般財源		333,814		



# 土 木 費

事業名	危険ブロック塀等撤去事業費補助金				
予算区分	一般会計 土木費 土木管理費 土木総務費				
総合計画の体系	第6章 第1節 生活安全の推進	実施計画番号	—		
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成30年度	決算書	159頁 ~160頁

## ◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

大阪北部地震でブロック塀が倒壊し、小学生が死亡した事件を受け、通学路等（通学路・通園路・避難路）における安全対策を推進するため、通学路等に面した危険ブロック塀等の撤去費用の一部を、所有者に助成する制度を創設したものの、平成30年度は年度途中からの事業開始ということもあり、実績値は計画件数には至らなかった。  
今後も引き続き本事業に関して市民への周知に努め、当初予定期間内での事業推進を図る。



成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	D
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

## ◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
補助金交付件数	件		20	20
			4	
			20.0%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

## ◆参考情報

## 【事業期間】

平成30年度～令和2年度（3会計年度）を予定

## 【備考】

申請者への生垣緑化推進事業費補助金（所管：都市整備部公園緑地課）の案内も道路河川建設課で行う。

## ◆決算情報

（単位：円）

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		2,000,000	219,000		1,781,000
主要な経費	補助金	2,000,000	219,000		1,781,000
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源		2,000,000	219,000	

事業名	大規模盛土造成地調査事業			
予算区分	一般会計 土木費 土木管理費 建築指導費			
総合計画の体系	第6章 第1節 生活安全の推進	実施計画番号	164	
担当課名	建築指導課	開始年度	平成30年度	決算書 159頁 ~160頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

大規模盛土造成地の概ねの位置及び規模を調査し、大規模盛土造成地マップを作成・公表することにより、災害リスクに対する市民の理解を深め滑動崩落による被害の未然防止を促進する。  
平成30年度において、大規模盛土造成地の抽出調査（511か所、793.59ha）及び大規模盛土造成地マップの作成を完了し、令和元年7月に公表した。

成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	皆減	評価	C
--------	------	---------	----	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
大規模盛土造成地の調査完了率	%		100	
			100	
			100.0%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

事業取組状況（平成31年3月時点）  
 ・大規模盛土造成地の有無等の公表率  
 全国：72.8%（1,268/1,741市町村）  
 山口県：21.1%（4/19市町）

◆決算情報

（単位：円）

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		10,500,000	8,824,680		1,675,320
主要な経費	委託料	10,500,000	8,824,680		1,675,320
財源	国庫・県支出金	3,500,000	2,941,560		
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源	7,000,000	5,883,120		

事業名	道路ストック老朽化対策事業【道路舗装等】				
予算区分	一般会計 土木費 道路橋りょう費 道路維持費				
総合計画の体系	第6章 第3節 道路・橋梁等老朽化対策の推進	実施計画番号	166・167		
担当課名	道路河川建設課 道路河川管理課	開始年度	平成17年度	決算書	161頁 ～162頁

## ◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

社会資本整備総合交付金等を活用した、道路舗装及び道路附属物の継続的な点検・診断と、この結果に基づいた適切な補修工事を実施することにより、市民の安全・安心の確保を図っている。

今後も継続的に計画に沿った事業進捗が図られるよう社会資本整備総合交付金の確保に努めるとともに、緊急度に応じて計画内容等を見直し、市民生活や社会・経済活動の基盤となる道路ストックの老朽化対策を推進する。



成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

## ◆施設の概要、計画等

## 【平成30年度の老朽化対策事業等】

事業名	事業予定年度
日本セレモニーウォーク(下関駅前人工地盤)改修工事	平成26年度～令和4年度
道路空洞化対策事業	平成27年度～令和4年度
道路附属物修繕工事	平成27年度～令和4年度



## ◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	486,215,119	450,004,160	391,160,042	6,500,000	52,344,118	
主要な経費	日本セレモニーウォーク(人工地盤)改修	453,635,519	376,919,572	324,575,454		52,344,118
	道路附属物修繕工事	28,515,560	66,584,588	66,584,588		
	道路空洞化対策事業	3,595,320	6,500,000		6,500,000	
財源	国庫・県支出金	259,137,009	237,147,900	206,983,700	3,250,000	
	市債	202,600,000	190,000,000	165,300,000		
	その他特定財源					
	一般財源	24,478,110	22,856,260	18,876,342	3,250,000	

事業名	道路整備事業				
予算区分	一般会計 土木費 道路橋りょう費 道路新設改良費				
総合計画の体系	第5章 第3節 道路の整備	実施計画番号	127・128 130		
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度	決算書	161頁 ～162頁

## ◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

社会資本整備総合交付金等を活用した、生活道路の整備を行うことにより、交通渋滞の解消、歩行者の安全確保、アクセス性の向上を促進している。

今後も継続して社会資本整備総合交付金を活用し市街地における慢性的な交通渋滞の緩和等の事業効果や整備優先度、また、各地域における実情を考慮しながら生活道路の整備を推進する。



成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

## ◆施設の概要、計画等

## 【平成30年度の主な事業】

路線名	事業内容	事業予定年度
小月小島線	バイパス L=0.6km	平成25年度 ～ 令和5年度
延行・郷線ほか1線	現道拡幅 L=1.1km	平成25年度 ～ 令和3年度
武久町85号線	新設改良 L=1.1km	平成23年度 ～ 令和4年度

## ◆決算情報

(単位：円)

年度		H29	H30			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		160,196,968	190,084,624	164,765,697	23,578,475	1,740,452
主要な経費	小月小島線	64,362,705	39,056,853	39,056,853		
	延行・郷線ほか1線	85,986,263	136,617,211	111,298,284	23,578,475	1,740,452
	武久町85号線	9,848,000	14,410,560	14,410,560		
財源	国庫・県支出金	85,099,430	97,438,125	88,141,277	11,868,161	
	市債	68,400,000	83,800,000	68,800,000	10,500,000	
	その他特定財源					
	一般財源	6,697,538	8,846,499	7,824,420	1,210,314	

事業名	地域道路整備事業				
予算区分	一般会計 土木費 道路橋りょう費 道路新設改良費				
総合計画の体系	第5章 第3節 道路の整備	実施計画番号	131・132 135・136		
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度	決算書	161頁 ～162頁

## ◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

過疎債等を活用した生活関連道路等の整備を行うことにより、これらの地域の自立促進を図り、地域格差の是正を図るとともに、住民福祉の向上を促進している。

今後も継続して対策が必要な生活関連道路等の整備を行い、安全性・アクセスの改善及び交流人口の増加による地域の活性化を促進する。



成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

## ◆施設の概要、計画等

## 【平成30年度の主な事業】

路線名	事業内容	事業予定年度
角島大橋線	新設改良 L=1.0km	平成23年度 ～ 令和2年度
今出タケ埜線	現道拡幅 L=1.4km	平成27年度 ～ 令和2年度
中村長正司線	舗装・側溝改良 L=1.1km	平成27年度 ～ 令和2年度
宮迫中原線	現道嵩上 L=0.3km	平成29年度 ～ 令和3年度

## ◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	233,331,607	549,681,085	405,409,282	128,038,600	16,233,203	
主要な経費	角島大橋線	144,200,000	249,668,028	163,313,294	78,458,600	7,896,134
	今出タケ埜線	47,585,607	146,685,281	109,748,920	29,034,000	7,902,361
	中村長正司線	21,846,000	124,493,356	103,568,348	20,546,000	379,008
財源	国庫・県支出金					
	市債	233,100,000	549,600,000	404,600,000	127,900,000	
	その他特定財源					
	一般財源	231,607	81,085	809,282	138,600	

事業名	道路ストック老朽化対策事業【橋梁等】				
予算区分	一般会計 土木費 道路橋りょう費 橋りょう維持費				
総合計画の体系	第6章 第3節 道路・橋梁等老朽化対策の推進	実施計画番号	168～170		
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度	決算書	161頁 ～164頁

## ◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

社会資本整備総合交付金等を活用した、橋梁等の定期的な点検・診断を実施するとともに、この結果及び『下関市橋梁長寿命化修繕計画』に基づいて橋梁等の補修工事を実施することで、市民の安全・安心を確保している。

今後も継続的に計画に沿った事業進捗が図られるよう社会資本整備総合交付金の確保に努めるとともに、緊急度に応じて計画内容等を見直し、市民生活や社会・経済活動の基盤となる道路ストックの老朽化対策を推進する。



成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

## ◆施設の概要、計画等

## ■橋梁長寿命化事業

市道に架かる橋長15m以上の橋梁（173橋）について、維持管理費の縮減及び平準化を目的に策定した「下関市橋梁長寿命化修繕計画」に基づいて、修繕工事を行うもの。

事業期間：平成25年度～令和44年度

※補修等の1サイクルは約30年、計画は50年間で作成

事業計画：年間5橋程度の橋梁の実施設計及び修繕

## ■老朽化対策事業

市道に架かる橋長15m未満の橋梁（1,339橋）について、橋梁総点検を実施した結果、対応が必要であると診断された橋梁181橋の修繕工事を行うもの。

スケジュール（1期事業期間：平成27年度～令和6年度）

## ■ストック点検事業

法令に基づいて、市道に架かる道路橋及びトンネルを定期的に点検するもの。

橋梁点検：1,512橋、横断歩道橋：6施設、トンネル点検：2箇所  
（5年間1サイクルで継続的に実施）

## ◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	443,712,267	519,729,184	356,913,194	108,378,262	54,437,728	
主要な経費	橋梁長寿命化事業（15m以上）	219,672,468	314,266,225	184,460,216	108,378,262	21,427,747
	橋梁老朽化対策事業（15m未満）	108,900,129	123,462,959	107,734,920		15,728,039
	ストック点検事業	115,139,670	75,000,000	64,718,058		10,281,942
財源	国庫・県支出金	236,247,673	291,408,700	186,518,346	59,973,472	
	市債	147,800,000	213,800,000	127,700,000	46,600,000	
	その他特定財源					
	一般財源	59,664,594	14,520,484	42,694,848	1,804,790	

事業名	交通安全施設等整備事業				
予算区分	一般会計 土木費 道路橋りょう費 交通安全施設整備事業費				
総合計画の体系	第6章 第1節 生活安全の推進	実施計画番号	162		
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度	決算書	163頁 ～164頁

## ◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

社会資本整備総合交付金等を活用した、歩道等の交通安全施設整備を行うことにより、歩行者や自転車利用者の安全確保、誰もが安心して安全に通行することのできる通行空間を確保する。

平成30年度は、12路線2地区を実施し、2路線2地区を完了した。

今後も継続して社会資本整備総合交付金を活用し、通学路として利用する児童をはじめ歩行者の危険を除去し、安心・安全な道路空間の確保を推進する。



成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

## ◆施設の概要、計画等

## 【平成30年度の主な事業】

路線名等	事業内容	事業予定年度
高尾・幡生線	歩道整備 L=1.5km	平成24年度～令和4年度
向洋町3号線	歩道整備 L=0.3km	平成24年度～令和3年度
壇の浦・高尾線	歩道整備 L=2.1km	平成19年度～令和元年度
棕野・伊倉線	歩道整備 L=0.1km	平成24年度～令和4年度
上新地町25号線	歩道整備 L=0.3km	平成26年度～平成30年度
内日下37号線	歩道整備 L=0.4km	平成27年度～平成30年度
本村・西山線	歩道整備 L=0.1km	平成27年度～令和元年度
大学町・熊野線	歩道整備 L=0.2km	平成28年度～令和3年度
員光・清末線他	歩道整備 L=0.2km	平成28年度～令和4年度
中道線	歩道整備 L=0.4km	平成26年度～令和4年度
吉見新町22号線(尾崎踏切)	歩道整備 L=0.1km	平成29年度～令和2年度
宇部線(高磯折第1踏切)	歩道整備 L=0.5km	平成30年度～令和5年度
通学路安全対策事業(勝山・清末地区)	路面標示、カラー舗装等	平成30年度

## ◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	534,198,234	667,419,408	501,081,060	161,271,751	5,066,597	
主要な経費	大学町・熊野線	124,982,677	97,342,589	57,082,710	40,010,761	249,118
	高尾・幡生線	200,084,985	111,128,640	72,471,509	38,557,040	100,091
	壇の浦・高尾線	47,726,751	103,622,298	77,672,960	25,449,338	500,000
財源	国庫・県支出金	269,251,825	319,171,332	255,975,635	84,800,856	
	市債	240,000,000	264,200,000	218,800,000	68,600,000	
	その他特定財源					
	一般財源	24,946,409	84,048,076	26,305,425	7,870,895	

事業名	浸水対策事業				
予算区分	一般会計 土木費 河川費 河川新設改良費				
総合計画の体系	第6章 第6節 河川・海岸環境の整備	実施計画番号	177		
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度	決算書	163頁 ～164頁

## ◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

浸水被害軽減のため、雨水排水施設を整備し、浸水被害地域の住民の安心・安全な生活環境の確保を図るもの。

平成30年度において、建物調査業務・水路網図作成業務を行うとともに、排水構造物の設置など8地区において対策工事を実施し、1地区完了した。

今後も引き続き計画的に事業推進し、全市域における浸水被害の軽減を図る。



成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

## ◆施設の概要、計画等

建物調査	後田町地区				
水路網図作成	長府中土居本町、長府中土居北町、長府豊浦町、長府前八幡町 長府中尾町、長府印内町				
用地測量	古屋町地区				
対策工事	後田町地区	L=176m	平成27年度	～	令和6年度
	富任町地区	L= 97m	平成28年度	～	平成30年度
	長府亀の甲地区	L=143m	平成27年度	～	令和3年度
	川中豊町地区	L= 27m	平成28年度	～	令和3年度
	田部地区寺田川	L= 26m	平成27年度	～	令和2年度
	下岡枝地区	L= 12m	平成26年度	～	令和7年度
	西市地区	L= 18m	平成27年度	～	令和6年度
	古屋町地区	L= 56m	平成30年度	～	令和元年度

## ◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	112,864,768	284,581,268	171,872,219	45,567,000	67,142,049	
主要な経費	委託料	20,262,960	10,000,000	8,459,640	1,112,400	427,960
	工事請負費	87,022,640	250,047,440	157,335,360	44,454,600	48,257,480
財源	国庫・県支出金	50,887,694	137,212,020	81,839,648	19,614,122	
	市債	42,000,000	134,600,000	67,800,000	23,200,000	
	その他特定財源					
	一般財源	19,977,074	12,769,248	22,232,571	2,752,878	

事業名	急傾斜地崩壊対策事業				
予算区分	一般会計 土木費 河川費 急傾斜地崩壊対策事業費				
総合計画の体系	第6章 第6節 河川・海岸環境の整備	実施計画番号	175		
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度	決算書	163頁 ～166頁

## ◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

崩壊危険区域として指定された急傾斜地の崩壊防止工事及び再度災害防止工事を行い、住民生活の安定と安全性の向上を図る。

平成30年度は、吹付法枠等の対策工事又は測量設計を3箇所実施し、2箇所完了したことに加え、激甚災害指定時に事業採択される、災害関連地域防災がけ崩れ対策事業を6箇所実施した。

また、山口県が施行する急傾斜地崩壊対策事業の事業費の一部を負担し、事業の促進を図った。

今後も、地元要望に対応した急傾斜地崩壊危険箇所の整備を計画的に推進する。



成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

## ◆施設の概要、計画等

## 小規模急傾斜地崩壊対策事業

箇所名	施工内容	延長	平成30年度 事業内容	事業年度
神田町一丁目2	吹付法枠工	L=34m	吹付法枠工	平成29年度～平成30年度
緑町(6)	吹付法枠工	L=60m	測量設計	平成30年度～令和2年度

## がけ崩れ災害緊急対策事業

南部町	吹付法枠工	L=21m	鉄筋挿入工	平成29年度～平成30年度
-----	-------	-------	-------	---------------

## 災害関連地域防災がけ崩れ対策事業

長府松小田北町(一)(1)	吹付法枠工	L=16m	測量業務	平成30年度～令和元年度
長府満珠町(一)(7)	吹付法枠工	L=8.5m	測量業務	平成30年度～令和元年度
向山町(一)(2)	吹付法枠工	L=8m	測量業務	平成30年度～令和元年度
彦島本村町(一)(19)	吹付法枠工	L=13m	測量業務	平成30年度～令和元年度
汐入町(2)	吹付法枠工	L=9.7m	測量業務	平成30年度～令和元年度
百合野	吹付法枠工	L=16m	測量業務	平成30年度～令和元年度

## ◆決算情報

(単位：円)

年度		H29	H30			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		89,664,483	259,285,000	113,465,564	119,320,000	26,499,436
主要な経費	委託料	8,758,800	47,939,080	13,339,080	34,250,000	350,000
	工事請負費	60,628,920	150,738,920	50,068,240	83,600,000	17,070,680
	負担金	19,475,613	57,000,000	49,174,188		7,825,812
財源	国庫・県支出金	34,693,860	128,889,000	27,821,400	70,190,000	
	市債	49,500,000	123,100,000	73,000,000	23,600,000	
	その他特定財源	4,621,878	4,257,000	991,538	1,376,000	
	一般財源	848,745	3,039,000	11,652,626	24,154,000	

事業名	都市計画マスタープラン推進事業（立地適正化計画）				
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 都市計画総務費				
総合計画の体系	第5章 第1節 市街地の整備	実施計画番号	118		
担当課名	都市計画課	開始年度	平成28年度	決算書	165頁 ～166頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

本市では、近年の人口減少や高齢化の進展、低密度な市街地の形成・拡大を受け、集約型都市構造へ転換することによる持続可能な都市づくりを目指している。このことを実現するため、暮らしに必要な施設や住宅などの配置を都市全体で考え、計画的・継続的な都市づくりを推進する計画である「立地適正化計画」の作成に平成28年度より取り組んでいる。

平成29年度は居住誘導区域(素案)および都市機能誘導区域(素案)を作成した。  
平成30年度には、詳細な区域案及び誘導施策等を検討し計画素案を作成した。  
令和元年度中に策定・公表する予定である。

成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
地域に応じた都市機能が充実し、まちのにぎわいや魅力があると感じている市民の割合	%	15.00	15.00	15.00
		5.74	8.06	
		38.3%	53.7%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

【立地適正化計画の概要】

- ・都市再生特別措置法の改正により制度化（平成26年8月）
- ・都市全体の観点から、居住機能や福祉・医療・商業等の都市機能の立地、公共交通の充実に関する包括的なマスタープランを作成
- ・居住誘導区域、都市機能誘導区域を定め、区域外における一定の開発等に対し勧告等を行うことにより緩やかに誘導を図る



◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費	6,750,000	10,980,360	10,980,360		
主要な経費	委託料	6,750,000	10,980,360	10,980,360	
財源	国庫・県支出金	3,375,000	5,490,000	5,490,000	
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源	3,375,000	5,490,360	5,490,360	

事業名	密集市街地環境整備事業				
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 都市計画総務費				
総合計画の体系	第5章 第1節 市街地の整備	実施計画番号	121		
担当課名	都市計画課	開始年度	平成30年度	決算書	165頁 ~166頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

下関駅から唐戸にかけての国道9号以北の長崎新町等の区域約486haにおいて、延焼火災が発生し得る密集市街地の有無を確認するとともに、老朽建築物である木造住宅の密度や接道状況を確認するものである。

平成30年度には防災や住環境の改善などの観点から現況調査を行い、事業実施区域を選定した。

令和元年度以降は地権者の意向を確認しながら老朽建築物の除却などを実施し、防災性の向上と良好な住環境の形成を目指す。



成果の方向性	拡充	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	----	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
調査面積	ha		486	
※平成30年度の調査結果により評価指標を設定する			486	
			100.0%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

地区概要

【所在地】山口県下関市長崎新町、山手町ほか66町

【地区面積】約486ha

調査対象区域 486ha



◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		11,000,000	8,910,000		2,090,000
主要な経費	委託料	11,000,000	8,910,000		2,090,000
財源	国庫・県支出金	5,500,000	4,455,000		
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源	5,500,000	4,455,000		

事業名	国道用地先行取得事業（長府印内交差点）				
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 都市計画総務費				
総合計画の体系	第5章 第3節 道路の整備	実施計画番号	139		
担当課名	都市計画課	開始年度	平成29年度	決算書	165頁 ～166頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

国土交通省の依頼を受け、長府印内交差点の慢性的な渋滞解消を図るための国道2号印内地区交差点改良に伴い、本市が事業用地の先行取得を行う。  
 先行取得は平成29年度より着手し、2ヵ年で実施した。  
 国土交通省は本市が先行取得した用地を取得の翌年から4年間で再取得する。



成果の方向性	休廃止	事業費の方向性	皆減	評価	D
--------	-----	---------	----	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆施設の概要、計画等

○施設の概要



○事業計画

平成29年度～平成30年度 用地取得、建物補償等

◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	303,769,139	758,729,613	293,033,518	234,459,574	231,236,521	
主要な経費	繰出金	303,769,139	758,729,613	293,033,518	234,459,574	231,236,521
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	303,769,139	758,729,613	293,033,518	234,459,574	

事業名	生垣緑化推進事業費補助金				
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 都市計画総務費				
総合計画の体系	第5章 第4節 公園・緑地の整備	実施計画番号	—		
担当課名	公園緑地課	開始年度	平成30年度	決算書	165頁 ～166頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

通学路等に面する危険ブロック塀等撤去補助事業の適用を受け、ブロック塀等の撤去後に、都市の緑化を促進し快適な生活空間を創り出すために、当該撤去部分の全部又は一部に生垣を設置する場合に、生垣の設置に要した費用の一部を助成した。



- 補助対象者：危険ブロック塀等撤去補助金の交付対象者
- 補助対象事業：ブロック塀等撤去後の生垣設置費用
- 補助額：設置費用の1/2（上限7万円）

成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	縮小	評価	E
--------	------	---------	----	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
補助金を活用した生垣の設置件数	件		20	20
			1	
			5.0%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

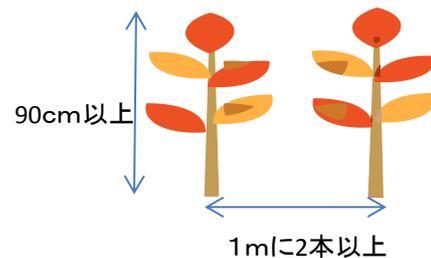
◆参考情報

補助の対象となる生垣

- ①通学路等に面する危険ブロック塀等の撤去箇所に、新たに設置する生垣であること。
- ②樹高が90cm以上で、健全な常緑樹であること。
- ③植樹本数は1mの間隔で2本以上を基本とし、列状に植え込むこと。

【事業期間】

平成30年度～令和2年度（3会計年度）を予定



◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		1,400,000	35,000		1,365,000
主要な経費	補助金	1,400,000	35,000		1,365,000
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源		1,400,000	35,000	

事業名	中心市街地北側斜面地調査業務			
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 市街地整備費			
総合計画の体系	第5章 第1節 市街地の整備	実施計画番号	121	
担当課名	市街地開発課	開始年度	平成30年度	決算書 165頁 ~166頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

本市の中心市街地北側斜面地（日和山公園周辺地区）は、老朽建築物等が密集しており、住環境の改善が必要な地区であるため、ワークショップ等により地区住民と協働してまちの将来像の検討を行う。

平成30年度は、ワークショップの中で、地区住民と活発な意見交換を行い、地区の魅力と課題の抽出を行った。

令和元年度は、日和山公園周辺地区のより良いまちづくりの実現に向けて、地区住民と協働しながら、地元説明会やワークショップを継続的に実施し、地区住民の意見を反映させた「まちづくりの基本構想」を策定する。

成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	拡大	評価	C
--------	------	---------	----	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
まちづくりグループの結成 (事業化準備組織)	団体			

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

- 令和2年度までに「まちづくりグループ」1団体以上
- 調査対象地区（中心市街地北側斜面地）  
（日和山公園周辺地区：丸山町五丁目他）

【平成30年度の取り組み】

- ・地元説明会、ワークショップを開催  
（10月27日：丸山集会所：参加者28人）
- ・グループワークを行い、当該地区の魅力・課題を抽出

魅力	景観が良い、駅や病院に近い、日和山公園が魅力
課題	狭隘な道路、危険な家屋が多い、日和山公園に駐車場がない

平成30年度 ワークショップ状況



◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		1,000,000	972,000		28,000
主要な経費	委託料	1,000,000	972,000		28,000
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源		1,000,000	972,000	

事業名	街路整備事業				
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 街路事業費				
総合計画の体系	第5章 第3節 道路の整備	実施計画番号	137・138		
担当課名	道路河川建設課	開始年度	平成17年度	決算書	165頁 ～166頁

## ◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

社会資本整備総合交付金等を活用した、幹線街路（都市計画道路）の整備を行うことにより、交通渋滞の解消、交通安全の確保、物流の円滑化の促進、都市景観の再生を促進している。

今後も継続して社会資本整備総合交付金を活用し、都市計画道路における計画的なまちづくりをはじめ都市景観の再生などを図り、魅力的な街路空間の創出を推進する。



成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	------	---------	------	----	---

評価 A: 計画完了 B: 計画以上に進捗 C: 計画通りに進捗 D: 計画を下回る E: 計画を大きく下回る

## ◆施設の概要、計画等

## 【平成30年度の主な事業】

路線名	事業内容	事業予定年度
武久幡生本町線	バイパス L=0.2km	平成25年度 ～ 令和4年度
竹崎園田線	歩道整備 L=0.4km	平成23年度 ～ 令和元年度

## ◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	334,441,336	625,102,136	503,310,658	89,833,840	31,957,638	
主要な経費	武久幡生本町線	145,651,563	443,682,272	337,993,862	89,833,840	15,854,570
	竹崎園田線	188,789,773	156,419,864	147,380,944		9,038,920
財源	国庫・県支出金	169,342,228	259,634,749	226,583,748	45,639,882	
	市債	147,900,000	348,900,000	248,600,000	39,700,000	
	その他特定財源					
	一般財源	17,199,108	16,567,387	28,126,910	4,493,958	

事業名	乃木浜総合公園整備事業				
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 公園費				
総合計画の体系	第5章 第4節 公園・緑地の整備	実施計画番号	140		
担当課名	公園緑地課	開始年度	平成21年度	決算書	165頁 ~168頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

本市のスポーツ・レクリエーション需要に対応した、中核的な総合公園を目指すため、現在山陽地区で不足している運動施設の早期充実を図る。  
 また、市民の憩いの広場を提供することにより健康増進や地域コミュニティの形成に資するため、広場及び緑地の整備を行う。  
 平成30年度は、グラウンドゴルフ場の造成、主園路及び園路広場等の整備を行った。  
 令和元年度は、グラウンドゴルフ場（令和3年春供用開始予定）の整備（芝生植栽、園路整備、管理棟等の建設）及び主園路の整備を行う。

成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	D
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆施設の概要、計画等

【施設整備】

- ① 運動施設：多目的グラウンド（大1、小2）  
人工芝グラウンド（1面）  
野球場（1面）、庭球場（5面）  
グラウンドゴルフ場
- ② 多目的施設：展望の丘、園路等
- ③ 便益施設：トイレ（4カ所）



◆決算情報

(単位：円)

年度		H29	H30			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		291,959,398	330,328,680	121,163,934	64,715,320	144,449,426
主要な経費	工事請負費	278,887,640	316,659,080	110,892,360	64,715,320	141,051,400
	事務費	8,196,638	13,669,600	10,271,574		3,398,026
	委託料	4,875,120				
財源	国庫・県支出金	141,869,600	158,664,340	55,445,320	32,357,660	
	市債	144,900,000	154,400,000	55,100,000	29,100,000	
	その他特定財源					
	一般財源	5,189,798	17,264,340	10,618,614	3,257,660	

事業名	リフレッシュパーク豊浦施設整備工事				
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 公園費				
総合計画の体系	第5章 第4節 公園・緑地の整備	実施計画番号	—		
担当課名	公園緑地課	開始年度	平成30年度	決算書	165頁 ~168頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

既存の「リフレッシュパーク豊浦」の「おまつり広場」を整地・芝生化し、様々なイベントの誘致や閑散期を含めた年間の積極的な利活用を行い、来場者の増加と周辺観光施設への経済的波及を図る。

平成30年7月に改修し、「コスモスまつり」「第1回川棚温泉ランバイク大会」「AJOCC山口シクロクロス」等のメインイベント会場として活用し、閑散期の利用促進を図り、来場者の増加に努めた。

今後も、様々なイベントの開催と、ランバイクの利用スペースとして年間を通して活用し、来場者の増加と周辺観光施設への経済的波及を図る。

成果の方向性	休廃止	事業費の方向性	皆減	評価	A
--------	-----	---------	----	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆施設の概要、計画等

- ◎改修内容
  - 芝生植栽
  - 周辺園路整備

- ◎活用事例
  - 第1回川棚温泉ランバイク大会
    - 主催：川棚温泉ランバイク大会実行委員会
    - 日時：平成30年10月13日
    - 参加者：2歳～6歳の未就学児
    - 参加者数：63人



◆決算情報

(単位：円)

年度		H29	H30			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			3,100,000	3,078,000		22,000
主要な経費	工事請負費		3,100,000	3,078,000		22,000
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源		3,100,000	3,078,000		

事業名	新総合体育館整備PFⅠ導入可能性等調査業務				
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 公園費				
総合計画の体系	第1章 第1節 文化・スポーツの振興	実施計画番号	8		
担当課名	公園緑地課	開始年度	平成30年度	決算書	165頁 ~168頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

本市スポーツ振興の中心的拠点となるイベント等も開催できる総合体育館を整備するため、平成30年度に検討、策定した基本構想及び体育施設再編整備に基づき、体育館の基本計画（建設位置の決定、建設計画図の作成、事業費、整備スケジュール、資金調達方法の検討）の策定及びPFⅠ導入可能性調査による整備手法の検討を始めた。  
令和元度は、基本構想等に基づき、基本計画の策定を行い、あわせてPFⅠ導入可能性調査による整備手法を決定する。

成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	拡大	評価	C
--------	------	---------	----	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆施設の概要、計画等

○新総合体育館基本構想（平成31年3月）（抜粋）

1.新総合体育基本コンセプト

- (1) 市民の誰もが安心・安全にスポーツを楽しめる体育館
- (2) スポーツを通じて交流を生み出す体育館
- (3) 環境への配慮や災害時の防災拠点となる体育館
- (4) 長期的・継続的運営が可能な体育館

2.事業費見込

約50億～約60億（概算事業費は基本計画で算出）

3.建設予定地

下関運動公園



現在の体育館外観



現在のアリーナ

○下関市体育館（現在）の施設概要

- ・設置年度 昭和38年度
- ・築年数 築55年
- ・構造・規模 鉄筋コンクリート造 4階建
- ・概要 バスケットボール:2面 バレーボール:3面  
バドミントン:10面 練習室:1室、談話室:2室

◆決算情報

(単位:円)

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		15,000,000	8,514	7,975,886	7,015,600
主要な経費	委託料	14,500,000		7,484,400	7,015,600
	事務費	500,000	8,514	491,486	
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源		15,000,000	8,514	7,975,886

事業名	交通円滑化推進事業（総合交通戦略）			
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 交通対策費			
総合計画の体系	第5章 第1節 市街地の整備	実施計画番号	117	
担当課名	交通対策課	開始年度	平成28年度	決算書
				167頁 ～168頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

本市の今後の人口減少・少子高齢化を見据え、生活に必要な各種サービスを維持し、効率的に提供していくために、各種機能を一定のエリアに集約化し、各地域をネットワーク化することで各種都市機能に応じた圏域人口を確保する「コンパクト+ネットワーク」の考え方に基づき、まちづくりと連携を図りながら、持続可能な交通体系を定め、それを具現化していくための「下関市総合交通戦略（下関市地域公共交通網形成計画）」を、平成29年度に策定した。

平成30年度においては、「下関市総合交通戦略（下関市地域公共交通網形成計画）」の実施施策である「バス路線の再編」について、「バス路線再編に関する基礎調査業務」を実施し、バス事業者が保有する膨大な乗降データを整理、集計し、各系統の特徴及び課題等を調査した。

令和元年度は、調査結果をもとに、効率的なバス路線網を構築し持続可能な交通体系の確立を図るための「下関市地域公共交通再編実施計画」の策定に取り組む。

成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
地域に応じた都市機能が充実し、まちのにぎわいや魅力があると感じている市民の割合	%	15.0	15.0	15.0
		5.74	8.06	
		38.3%	53.7%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

《バス路線の再編スケジュール》

平成29年度 下関市総合交通戦略（下関市地域公共交通網形成計画）の策定  
 平成30年度 バス路線再編に関する基礎調査  
 令和元年度 下関市地域公共交通再編実施計画の策定  
 令和2年度 下関市地域公共交通再編実施計画に基づく運行の開始（予定）

◆決算情報

（単位：円）

年度	H29	H30				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	11,729,880	6,000,000	5,929,200		70,800	
主要な経費	委託料	11,729,880	6,000,000	5,929,200		70,800
財源	国庫・県支出金	3,900,000				
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	7,829,880	6,000,000	5,929,200		

事業名	公共交通機関整備推進業務（バス交通）			
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 交通対策費			
総合計画の体系	第5章 第2節 公共交通の整備	実施計画番号	123	
担当課名	交通対策課	開始年度	平成17年度	決算書 167頁 ~168頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

公共交通機関であるバス交通について、生活に必要な移動手段を確保するため、路線バス事業者への経常欠損額に対する補助を行った。また、菊川、豊田、豊北総合支所管内の公共交通不便地域における自家用有償運送として、生活バスの運行を、定時定路線、デマンド運行により実施するとともに、平成30年4月2日より1乗車100円とする1コイン化を開始した。

人口に対するバスの利用率はほぼ横ばいであるが、生活バス利用者数は増加しており、1コイン化による効果が認められた。

利用者数は減少傾向であるが、自らの移動手段を持たない交通弱者にとって、バス交通はなくてはならないものであり、今後も、引き続き路線バス事業者に対する支援を継続し、生活に必要な移動手段の確保や利便性の向上を図る。

成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
人口に対するバスの利用率	%	13.6	13.6	13.6
		13.3	13.3	
		97.8%	97.8%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

生活バス利用者数推移 (単位：人)							
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H30/H29
菊川	16,232	17,065	16,492	14,489	13,240	14,113	107%
豊田	3,588	3,317	2,892	2,379	1,832	2,485	136%
豊北	1,533	1,543	1,357	1,401	1,599	2,437	152%
合計	21,353	21,925	20,741	18,269	16,671	19,035	114%

◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	343,708,254	368,156,000	366,855,763		1,300,237	
主要な経費	廃止路線代替バス運行事業費補助金	106,926,000	107,008,000	107,008,000		
	地方バス路線維持費補助金	188,586,000	208,896,000	208,896,000		
	生活バス運行委託料	48,196,254	50,152,000	49,290,263		861,737
財源	国庫・県支出金	29,890,000	14,335,000	30,530,000		
	市債					
	その他特定財源	45,626,490	43,713,000	43,595,530		
	一般財源	268,191,764	310,108,000	292,730,233		

事業名	都市景観形成推進業務			
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 住環境整備費			
総合計画の体系	第4章 第2節 良好な景観の形成	実施計画番号	103	
担当課名	都市計画課	開始年度	平成17年度	決算書
				167頁 ~168頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

本市における良好な景観形成の実現に向け、下関市景観条例及び下関市景観計画等に基づく景観誘導を行った。

快適で美しく魅力的な都市環境の創出のため、花いっぱい計画の実施に際し、花苗等の支給や人的支援を行い、花とみどりのまちづくりを推進し、彩りと潤いのある景観形成を行った。また、夜の景観照明事業の実施に対する助成を行った。

今後も引き続き、下関らしい豊かで潤いのある景観づくりに向け、市民・事業者等と連携を図りながら、事業の推進を図る。



花いっぱい計画



下関駅前イルミネーション

成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
下関らしい豊かで潤いのある景観づくりが推進されていると感じている市民の割合	%	29.9	31.0	32.0
		20.4	21.7	
		68.2%	70.0%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

■花いっぱい計画

- ・場所：国道9号沿い花壇（唐戸～下関駅）
- ・期間：6月3日（日）、12月2日（日）
- ・主催：下関景観協議会（事務局：（一財）下関21世紀協会）

■夜の景観照明事業（下関駅前イルミネーション）

- ・場所：下関駅前人工地盤及び竹崎公園（※周辺の植栽を含む）
- ・期間：11月23日～1月14日
- ・主催：エキマチ下関推進協議会

◆決算情報

（単位：円）

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費	6,273,169	6,302,000	5,570,681		731,319
主要な経費	花いっぱい計画	1,252,059	1,618,952	1,618,952	
	夜の景観照明事業補助金	4,000,000	2,000,000	2,000,000	
財源	国庫・県支出金				
	市債				
	その他特定財源	3,500,150			
	一般財源	2,773,019	6,302,000	5,570,681	

事業名	空き家対策業務			
予算区分	一般会計 土木費 都市計画費 住環境整備費			
総合計画の体系	第4章 第4節 住環境の整備	実施計画番号	115	
担当課名	住宅政策課	開始年度	平成24年度	決算書
				167頁 ~168頁

## ◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、特定空家等に対しては、現地及び所有者等調査、助言、指導等により、また管理不適切空家等に対しては、助言等により適切な管理に導くもの。

平成30年度は、特定空家等及び管理不適切空家等に対する助言・指導等のほか、空き家の状態に応じた管理、改修、除却の補助を実施するとともに、説明会・相談会を開催し、空き家の適切な管理の推進及び中古住宅市場への流通促進を行った。

今後についても、引き続き、法律、条例及び空家等対策計画に基づき、空き家の適切な管理並びに利活用を推進する。



出典：国土交通省  
中国地方整備局HP

成果の方向性	拡充	事業費の方向性	拡大	評価	C
--------	----	---------	----	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

## ◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
危険家屋除却件数 (当該年度実施件数)	件	35	35	35
		32	28	
		91.4%	80.0%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

## ◆参考情報

下関市の空き家の現状（平成20年及び平成25年住宅・土地統計調査 総務省）

	平成20年	平成25年
総住宅数	140,220戸	→139,560戸
空き家数	21,700戸	→22,830戸
賃貸、売却用等空き家	10,300戸	→10,970戸
その他の空き家	11,400戸	→11,860戸
うち腐朽・破損有り	5,600戸	→5,770戸

## ◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	13,504,861	40,843,000	12,307,570		28,535,430	
主要な経費	空き家居住促進改修補助金	583,000	4,200,000	483,000		3,717,000
	空き家管理・流通促進支援事業補助金	197,000	600,000	295,000		305,000
	危険家屋除却費補助金	12,286,000	25,000,000	10,950,000		14,050,000
財源	国庫・県支出金	6,434,000	14,390,000	5,691,000		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	7,070,861	26,453,000	6,616,570		

事業名	ブロック塀緊急安全対策事業				
予算区分	一般会計 土木費 住宅費 住宅管理費				
総合計画の体系	第6章 第1節 生活安全の推進	実施計画番号	—		
担当課名	住宅政策課	開始年度	平成30年度	決算書	167頁 ~170頁

## ◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

平成30年6月18日に発生した大阪府北部地震において、小学校プールのブロック塀が倒壊し、小学生が下敷きになるという事故が発生した。この事故を受け、本市公共施設に設置されたブロック塀を総点検し、倒壊の危険性が高いなど安全対策を講じる必要性が高いものについて、安全対策を実施したもの。

成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	皆減	評価	A
--------	------	---------	----	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

## ◆施設の概要、計画等

	対象延長	事業費	対象施設
建設部	150.3m	4,000千円	市営住宅（1か所） （長府八幡改良住宅）

【施工前】



【施工後】



## ◆決算情報

(単位：円)

年度		H29	H30			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			4,000,000	2,785,320		1,214,680
主要な経費	工事請負費		4,000,000	2,785,320		1,214,680
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源		4,000,000	2,785,320		
	一般財源					

事業名	下関駅周辺地区市営住宅等団地再生可能性検討業務				
予算区分	一般会計 土木費 住宅費 住宅建設費				
総合計画の体系	第4章 第4節 住環境の整備	実施計画番号	—		
担当課名	住宅政策課	開始年度	平成29年度	決算書	169頁 ~170頁

## ◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

下関駅周辺地区に位置する老朽化の著しい市営住宅等の建替事業を円滑に進めていくため、ヒアリングや対話を通して、団地再生の方針の検討を行うほか、建替に対する協力体制や建替の機運を醸成することを目的とする。平成30年度は、市営住宅等の管理人や自治会等を対象とした勉強会を実施し、市営住宅の課題等についての意見交換を行うなど建替に対する機運の醸成を図った。



成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

## ◆施設の概要、計画等

## ○対象団地等

竹崎	1棟 48戸	昭和35年度建設（築59年経過）
竹崎改良	10棟458戸	昭和38～51年度建設（築43～56年経過）
長門改良	1棟111戸	昭和47年度建設（築47年経過）
上新地	1棟 40戸	昭和53年度建設（築41年経過）

## ○主な事業計画

平成29年度	下関駅周辺地区市営住宅等団地再生可能性調査業務 権利関係の整理、再生手法の検討、事業イメージの構築 等
平成30年度	下関駅周辺地区市営住宅等団地再生可能性検討業務 市営住宅および周辺の自治会長と市営住宅の課題等についての意見交換
令和元年度	下関駅周辺地区市営住宅等再生についての勉強会実施

## ◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	6,393,600	1,000,000	961,200		38,800	
主要な経費	委託料	6,393,600	1,000,000	961,200		38,800
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源	6,393,600	1,000,000	961,200		
	一般財源					

事業名	白雲台団地公営住宅等整備事業				
予算区分	一般会計 土木費 住宅費 住宅建設費				
総合計画の体系	第4章 第4節 住環境の整備	実施計画番号	114		
担当課名	住宅政策課	開始年度	平成28年度	決算書	169頁 ~170頁

## ◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

白雲台団地において、効果的かつ効率的な建替集約事業を進めるためPFI方式を採用するにあたり、事業の実施方針の策定から契約締結に至るまでの一連の作業について、金融・法務等の専門分野のアドバイザーから適切な支援を受け、円滑な契約締結を図り、事業を推進することを目的とする。

平成31年3月に白雲台団地建替事業（1期）を特定事業として選定し、その後4月に入札公告を行った。12月の特定事業契約の締結を目指す。



成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	拡大	評価	C
--------	------	---------	----	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

## ◆施設の概要、計画等

## ○対象団地

白雲台) 22棟547戸 昭和25年度~平成10年度建設(築21~69年経過)

白雲台改良) 2棟60戸 昭和47年度建設(築47年経過)

白雲台(特公賃)) 1棟16戸 平成8年度建設(築23年経過)

建替集約後: 17棟579戸 (▲164戸)

※貴船32戸、山の口32戸、菁莪(1)56戸を将来集約予定

## ○事業計画

平成28年度 PPP/PFI手法導入検討業務(市場調査、簡易な定量評価等)

平成29年度 PFI導入可能性調査業務(事業スキーム精査、VFM検討等)

平成30、令和元年度 PFIアドバイザー業務

(事業の実施方針の策定、要求水準書の作成、募集要項・民間事業者選定基準の作成・契約書(案)の作成等についての支援)

令和元年度~令和5年度 PFI委託業務

## ◆決算情報

(単位:円)

年度	H29	H30				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	5,886,000	9,000,000	6,097,680		2,902,320	
主要な経費	委託料	5,886,000	9,000,000	6,097,680		2,902,320
財源	国庫・県支出金	5,886,000	9,000,000	6,097,000		
	市債					
	その他特定財源			680		
	一般財源					

事業名	公営住宅等ストック総合改善事業				
予算区分	一般会計 土木費 住宅費 住宅建設費				
総合計画の体系	第4章 第4節 住環境の整備	実施計画番号	—		
担当課名	住宅政策課	開始年度	平成17年度	決算書	169頁 ~170頁

## ◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

下関市公営住宅等長寿命化計画に基づき、躯体の安全確保及び耐久性の向上を図るため、既設公営住宅等において外壁改修工事及び屋上防水改修工事を実施したものの。

【施工前】



→

【施工後】



(宝改良住宅)

成果の方向性	拡充	事業費の方向性	拡大	評価	C
--------	----	---------	----	----	---

評価 A: 計画完了 B: 計画以上に進捗 C: 計画通りに進捗 D: 計画を下回る E: 計画を大きく下回る

## ◆施設の概要、計画等

実施団地名	建設年度 (築年数)	構造等	実施棟数 (戸数)	外壁	防水	電灯 幹線	ガス管
宝	昭和61~62年度 (築31~32年)	中層耐火5階建	6棟 (150戸)	○	○		
宝改良	昭和57~58年度 (築35~36年)	中層耐火5階建	2棟 (35戸)	○			
竹崎改良	昭和42~51年度 (築42~51年)	中層耐火3階建 高層耐火6・11階建	4棟 (175戸)				○
彦島塩浜(1)	昭和51年度 (築42年)	中層耐火3階建	1棟 (24戸)			○	
東大和改良	昭和47年度 (築46年)	中層耐火4階建	1棟 (28戸)			○	

## ◆決算情報

(単位:円)

年度	H29	H30				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	519,571,320	206,568,520	146,525,760		60,042,760	
主要な経費	工事請負費	510,105,120	206,568,520	146,525,760		60,042,760
財源	国庫・県支出金	197,862,000	92,625,000	82,019,000		
	市債	253,700,000	113,900,000	62,900,000		
	その他特定財源	68,009,320	43,520	1,606,760		
	一般財源					



# 消 防 費

事業名	水難救助高度化事業（潜水活動業務）				
予算区分	一般会計 消防費 消防費 常備消防費・消防施設費				
総合計画の体系	第6章 第1節 生活安全の推進	実施計画番号	159		
担当課名	警防課	開始年度	平成28年度	決算書	169頁 ～170頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

<p>水難救助活動の充実強化を図るため、潜水活動を実施するうえで必要となる職員（潜水隊員）の養成と、車両や潜水資器材等の整備を行う。</p>					
成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆施設の概要、計画等

<p>事業の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>潜水活動業務開始に必要な人員等 潜水隊員12人、水難救助車1台</li> <li>令和元年7月から潜水業務開始</li> </ul> <p>平成30年度の事業（潜水隊員4人の養成及び資器材の購入）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山口県消防学校水難救助科入校他 民間養成機関での講習受講</li> <li>潜水隊員養成に必要な個人装備資器材一式の購入 （ウェットスーツ、レギュレーター、空気ボンベ 他）</li> <li>水中ソナー、水中投光器等の水難救助資器材の購入 （車両については、国の無償貸与車両を活用）</li> </ul>
--

◆決算情報

（単位：円）

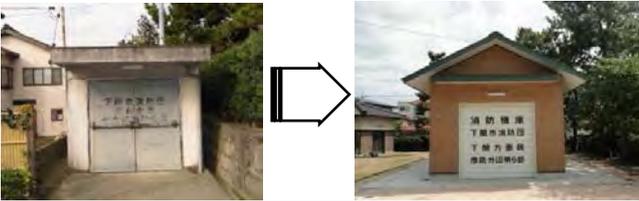
年度		H29	H30			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		8,101,154	88,019,000	23,922,017		64,096,983
主要な経費	旅費	758,064	578,000	344,578		233,422
	備品購入費	5,836,860	85,706,000	21,847,957		63,858,043
	消耗品、手数料、負担金	1,506,230	1,735,000	1,729,482		5,518
財源	国庫・県支出金					
	市債		80,000,000	16,100,000		
	その他特定財源					
	一般財源	8,101,154	8,019,000	7,822,017		

事業名	消防団充実強化事業				
予算区分	一般会計 消防費 消防費 非常備消防費・消防施設費				
総合計画の体系	第6章 第1節 生活安全の推進	実施計画番号	160		
担当課名	警防課	開始年度	平成17年度	決算書	169頁 ~170頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

耐用年数を経過した消防団車両の計画的な更新整備、老朽・狭隘な消防機庫の計画的な改修・改築（統廃合を含む）及び消防団装備品の充実強化を図る。

彦島分団第6部（迫）消防機庫



成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	------	---------	------	----	---

評価 A: 計画完了 B: 計画以上に進捗 C: 計画通りに進捗 D: 計画を下回る E: 計画を大きく下回る

◆施設の概要、計画等

平成30年度 主な改築等の概要

- ・改築機庫（建替え） 3棟
  - 彦島分団第4・5部消防機庫（弟子待・田の首）
  - 彦島4部（弟子待）H5竣工（築25年）、彦島5部（田の首）S56竣工（築37年）
  - 彦島分団第6部消防機庫（迫）
  - S53竣工（築40年）
  - 彦島分団第8部消防機庫（六連島）繰越明許
  - 彦島8部1（六連島上）S45竣工（築48年）、彦島8部2（六連島下）S52竣工（築41年）
- ・消防ポンプ自動車 2台
  - 彦島分団第5部（田の首）（前回H1 更新）
  - 安岡分団第3部（福江）（前回H6 更新）
- ・小型動力ポンプ積載車（軽） 4台
  - 内日分団第4・5部（寺秋）（前回H2 更新）
  - 川中分団第2部（熊野）（前回H7 更新）
  - 田耕分団第1部（小野）（前回H4 更新）
  - 豊東分団第4部（上大野）（前回H7 更新）
- ・小型動力ポンプ 2台
  - 内日分団第4・5部（寺秋）（前回H7 更新）
  - 川棚分団第6部（高砂）（前回H7 更新）
- ・無線機の配備、活動服、防火手袋等安全装備品の配備

◆決算情報

（単位：円）

年度		H29	H30		
			予算現額	決算額	翌年度繰越額
事業費		95,595,791	210,814,000	175,728,818	35,085,182
主要な経費	消防機庫の改築・改修	30,272,400	150,570,000	118,688,760	31,881,240
	消防車両等購入費	53,546,400	48,700,000	47,584,800	1,115,200
	教育及び装備品	11,776,991	11,544,000	9,455,258	2,088,742
財源	国庫・県支出金	4,400,000	616,000		
	市債	81,800,000	171,400,000	143,500,000	
	その他特定財源	2,000,000	12,000,000	4,000,000	
	一般財源	7,395,791	26,798,000	28,228,818	

事業名	消防車両等整備事業				
予算区分	一般会計 消防費 消防費 消防施設費				
総合計画の体系	第6章 第1節 生活安全の推進			実施計画番号	159
担当課名	警防課	開始年度	平成17年度	決算書	169頁 ~170頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

<p>国の示す消防力の整備指針を目標として、災害態様に即した常備消防車両等の整備（特殊消防車両の新規導入や車両装備の見直し等）に取り組みながら、消防車両等を適正管理し、耐用年数を経過した車両等を計画的に更新整備する。</p>	水槽付消防ポンプ自動車				
					
成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆施設の概要、計画等

平成30年度更新車両	
<ul style="list-style-type: none"> <li>水槽付消防ポンプ自動車 1台 豊浦西消防署豊北出張所 (前回H11.12更新)</li> <li>消防ポンプ自動車 1台 中央消防署 (前回H15.3更新)</li> <li>査察車 1台 東消防署 (前回H12.7更新)</li> </ul>	

◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	81,378,000	76,388,000	75,325,680		1,062,320	
主要な経費	車両購入費	81,378,000	76,388,000	75,325,680		1,062,320
財源	国庫・県支出金	15,700,000	19,600,000	21,141,000		
	市債	61,600,000	56,300,000	50,700,000		
	その他特定財源					
	一般財源	4,078,000	488,000	3,484,680		

事業名	救急業務高度化整備事業				
予算区分	一般会計 消防費 消防費 常備消防費・消防施設費				
総合計画の体系	第6章 第1節 生活安全の推進	実施計画番号	159		
担当課名	警防課	開始年度	平成17年度	決算書	169頁 ~170頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

高規格救急自動車に積載する高度救命処置用資機材を購入し、これらを運用する救急救命士を養成するとともに、そうした救急救命士を指導する立場となる指導救命士を養成することで、市民に対する応急手当の質の向上を図る。



成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆施設の概要、計画等

平成30年度の事業

- 高度救命処置用資機材購入 1式  
北消防署 (前回H25. 2更新)  
(下関市消防局救急隊10署所10隊 車両13台 ※13台のうち予備車3台)
- 救急救命士の養成  
救急救命九州研修所入所 2人  
(救急救命士の配置計画 各救急隊に6人の計60人)
- 指導救命士の養成  
救急救命九州研修所 2人  
(各消防署に2人、消防局に1人の合計13人の配置計画)

◆決算情報

(単位：円)

年度	H29	H30				
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	
事業費	40,070,955	20,108,000	19,304,706		803,294	
主要な経費	備品購入費 (高度救命処置用資機材の購入、H29年度は車両購入費も含む)	35,056,800	14,580,000	14,472,000		108,000
	旅費(研修所入所)	1,014,840	1,479,000	844,180		634,820
	負担金等(入所・受験)	3,999,315	4,049,000	3,988,526		60,474
財源	国庫・県支出金					
	市債	29,100,000	13,600,000	11,900,000		
	その他特定財源					
	一般財源	10,970,955	6,508,000	7,404,706		

事業名	自主防災リーダー育成事業			
予算区分	一般会計 消防費 消防費 災害対策費			
総合計画の体系	第6章 第1節 生活安全の推進	実施計画番号	161	
担当課名	防災危機管理課	開始年度	平成24年度	決算書 171頁 ~172頁

◆事業の概要・成果、今後の方向性並びに評価

自主防災組織やその自主防災リーダーによる「共助」の活動をより一層活性化し、市全体の減災を図るために、地域の防災力の強化について学ぶ研修会を開催した。

研修会には、これまで本市が養成した防災士をはじめ、地域の自主防災組織等でリーダー的役割を担っている54名が参加した。また、規約を定めた自主防災組織が、本年度新たに6組織結成された。

今後も、地域防災力の向上、自主防災組織等の活性化を図るため、自主防災リーダーの育成に取り組んでいきたい。



成果の方向性	現状維持	事業費の方向性	現状維持	評価	C
--------	------	---------	------	----	---

評価 A:計画完了 B:計画以上に進捗 C:計画通りに進捗 D:計画を下回る E:計画を大きく下回る

◆事業の目標指標（活動指標）

指標説明	単位	H29	H30	R1
規約を定めている自主防災組織の組織数	組織数	46	56	66
		46	52	
		100.0%	92.9%	

上段：計画、中段：実績、下段：達成率

◆参考情報

(1)自主防災リーダー育成研修会

- ・日 時：平成30年11月10日（土）午前9時30分～午後4時45分
- ・場 所：市役所本庁舎新館5階大会議室
- ・参加者：54名（防災士、まちづくり協議会関係者、自治会関係者、消防団員他）
- ・内 容：有識者による基調講演、「タイムライン」作成のグループ演習他

(2)自主防災組織において定める規約の内容（例）

組織の目的、事業内容、役員を選任・任務、会議の開催、防災計画の策定等

◆決算情報

（単位：円）

年度	H29	H30			
		予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費	2,646,000	500,000	273,284		226,716
主要な経費	研修会の出席講師にかかる謝礼及び旅費	146,000	77,268		68,732
	研修会実施にかかる事務用品等	354,000	196,016		157,984
	養成講座運営委託	2,646,000			
財源	国庫・県支出金	1,000,000			
	市債				
	その他特定財源	144,000			
	一般財源	1,502,000	500,000	273,284	